

京都府環境影響評価専門委員会次第

令和8年6月5日(金)午前10時～
京都府乙訓総合庁舎 乙訓保健所講堂
(W e b 会 議 方 式 併 用)

1 開 会

2 挨 拶

3 議 題

乙訓環境衛生組合ごみ処理施設整備事業(仮称)に係る環境影響評価方法書について

4 閉 会

配付資料一覧

- | | |
|-------|--|
| 資料1-1 | 京都府環境影響評価専門委員会委員名簿 |
| 資料1-2 | 京都府環境影響評価専門委員会規則 |
| 資料2 | 京都府環境影響評価専門委員会の公開の取扱いについて、指針、傍聴要領 |
| 資料3 | 乙訓環境衛生組合ごみ処理施設整備事業(仮称)に係る環境影響評価方法書について(諮問) |
| 資料4-1 | 京都府環境影響評価条例に基づく手続の流れ |
| 資料4-2 | 乙訓環境衛生組合ごみ処理施設整備事業(仮称)に係る計画段階環境配慮書に対する意見書 |
| 資料5-1 | 環境影響評価方法書の概要と手続等 |
| 資料5-2 | 乙訓環境衛生組合ごみ処理施設整備事業(仮称)に係る環境影響評価方法書手続の流れ |
| 資料6 | 環境影響評価方法書等正誤表 |
| 資料7 | 専門委員会現地調査地点について |

事前送付資料

- ・乙訓環境衛生組合ごみ処理施設整備事業(仮称)に係る環境影響評価方法書
- ・乙訓環境衛生組合ごみ処理施設整備事業(仮称)に係る環境影響評価方法書 要約書

京都府環境影響評価専門委員会委員名簿

(任期: 令和7年2月26日～令和9年2月25日)

氏 名	職 名
あらかわ あけみ 荒川 朱美	京都芸術大学芸術学部教授
おおした かずゆき 大下 和徹	京都大学大学院工学研究科准教授
かつみ たけし 勝見 武	京都大学大学院地球環境学堂教授
くろさか のりこ 黒坂 則子	同志社大学法学部教授
さこ かずえ 佐古 和枝	関西外国語大学英語国際学部教授
しみず よしひさ 清水 芳久	京都大学名誉教授
たかの やすし 高野 靖	京都大学名誉教授
とくち なおこ 徳地 直子	京都大学フィールド科学教育研究センター教授
なかお しろう 中尾 史郎	京都府立大学大学院生命環境科学研究科教授
なるせ はじめ 成瀬 元	京都大学大学院理学研究科教授
ふの たかゆき 布野 隆之	兵庫県立大学大学院地域資源マネジメント研究科准教授
まつい きよし 松井 淳	奈良教育大学名誉教授
やまし かずよ 山地 一代	神戸大学大学院海事科学研究科教授
よしむら まゆみ 吉村 真由美	国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所四国支所長
わたなべ つぎひろ 渡邊 紹裕	京都大学名誉教授・特任教授

(五十音順) (令和8年4月1日現在)

京都府環境影響評価専門委員会規則

公布 平成10年12月25日規則第40号
改正 平成17年 4 月 1 日規則第25号
改正 平成20年 4 月 1 日規則第21号
改正 平成27年 4 月 1 日規則第41号
改正 平成31年 4 月 1 日規則第23号
改正 令和 5 年 4 月 1 日規則第21号

(趣旨)

第1条 この規則は、京都府環境影響評価条例（平成10年京都府条例第17号）第40条第9項の規定により、京都府環境影響評価専門委員会（以下「専門委員会」という。）の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(委員長)

第2条 専門委員会に委員長を置き、委員の互選によりこれを定める。

2 委員長は、専門委員会を代表し、会務を総理する。

3 委員長に事故あるとき又は委員長が欠けたときは、委員長があらかじめ指名する委員がその職務を代理する。

(会議)

第3条 専門委員会の会議は、委員長が招集し、委員長が議長となる。

2 専門委員会は、委員及び臨時委員の過半数の出席がなければ会議を開くことができない。

3 専門委員会の議事は、出席の委員及び臨時委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(部会)

第4条 専門委員会に、専門の事項を調査審議するため、部会を置くことができる。

2 部会に属する委員及び臨時委員は、委員長が指名する。

3 前2条の規定は、部会について準用する。この場合において、これらの規定中「専門委員会」とあるのは「部会」と、「委員長」とあるのは「部会長」と読み替えるものとする。

(庶務)

第5条 専門委員会の庶務は、総合政策環境部において処理する。

(委任)

第6条 この規則に定めるもののほか、専門委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が専門委員

会に諮って定める。

附 則（抄）

1 この規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成17年規則第25号）（抄）

（施行期日）

1 この規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成20年規則第21号）

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成27年規則第41号）

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成31年規則第23号）

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（令和5年規則第21号）

この規則は、公布の日から施行する。

京都府環境影響評価専門委員会の公開の取扱いについて

- 1 京都府環境影響評価専門委員会（部会を含む。以下「専門委員会」という。）の会議は原則として公開とする。
ただし、京都府情報公開条例第6条各号のいずれかに該当する情報について審議等を行う場合には、予め専門委員会の委員長（部会にあっては部会長。以下同じ。）が専門委員会に諮って非公開とすることができる。
- 2 会議の傍聴を認める者の定員は、原則10名以上とし、あらかじめ会議ごとに委員長が定めるものとする。
また、記者席の設置に努めるものとする。
- 3 京都府が別に定める「審議会等の会議の公開に関する指針」（平成14年9月17日。以下「指針」という。）の「6 公開の方法」に定める傍聴に係る手続等は、別添「傍聴要領」のとおりとする。
- 4 その他委員会の会議の公開に関し必要な事項は、指針によるものとする。

附 則

この要領は、平成14年10月16日から施行する。

附属機関及び懇談会等の会議の公開に関する指針

1 目的

この指針は、附属機関及び懇談会等の会議の公開に関し必要な事項を定めることにより、府政の透明性の一層の向上を図り、もって開かれた府政を推進することを目的とする。

2 対象とする会議

この指針の対象とする会議は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第138条の4第3項の規定により設置された附属機関（以下「附属機関」という。）及び有識者の意見を聴く懇談会等（以下「懇談会等」という。）の会議とする。

3 会議の公開の基準

会議は、京都府情報公開条例（平成13年京都府条例第1号）第6条各号のいずれかに該当する情報について審議、意見聴取等を行う場合を除き、原則、公開するものとする。

4 公開又は非公開の決定等

- (1) 会議の公開又は非公開は、3の会議の公開の基準に基づき、附属機関にあっては当該附属機関が、懇談会等にあっては知事が決定するものとする。
- (2) 附属機関又は知事は、会議を非公開とした場合には、その理由を京都府のホームページへの掲載や府民総合案内・相談センター及び府政情報コーナー（以下「センター等」という。）における閲覧などにより、明らかにするものとする。

5 会議開催の周知

附属機関又は知事は、会議を公開するに当たっては、原則として当該会議の開催日の1週間前までに、会議の概要を京都府のホームページに掲載するほか、当該概要を記載した書面をセンター等において閲覧に供すること等により、府民に周知するよう努めなければならない。ただし、会議を緊急に開催する必要があるときは、この限りでない。

6 公開の方法

- (1) 附属機関又は知事は、会議を公開するときは、会場に傍聴席を設けるものとする。
- (2) 附属機関又は知事は、会議の傍聴を認める者の定員をあらかじめ定めるとともに、会議が公正かつ円滑に行われるよう、傍聴に係る手続等を定めるものとする。

7 審議、意見聴取等の要旨の公開

- (1) 附属機関又は知事は、公開した会議の審議、意見聴取等の要旨を閲覧に供するよう努めるものとする。
- (2) 附属機関又は知事は、会議を非公開とした場合であっても、京都府情報公開条例第6条各号に掲げる情報に該当するものを除き、当該会議の審議、意見聴取等の要旨を(1)に準じて閲覧に供するよう努めるものとする。

8 施行期日

この指針は、平成24年12月5日から施行する。

傍 聴 要 領

平成14年10月16日 制定
京都府環境影響評価専門委員会

1 京都府環境影響評価専門委員会の開催の周知について

- (1) 京都府環境影響評価専門委員会（部会を含む。以下「専門委員会」という。）の開催は、原則として会議開催日の一週間前までに、会議の概要を京都府のホームページに掲載するほか、当該概要を記載した書面を府政情報センターにおいて閲覧に供する等により周知するものとします。ただし、会議を緊急に開催する必要が生じたときは、可能な限り速やかに周知するものとします。
- (2) 会議開催の周知に当たっては、開催日時及び場所、議題、公開・非公開の別、傍聴手続等を明記します。

2 傍聴する場合の手続

- (1) 傍聴の受付は、会議の開会予定時刻の30分前から10分前までの間に行います。傍聴希望者は会場受付で申し出てください。
- (2) 希望者が定員を超える場合には、抽選により傍聴者を決定します。
- (3) 傍聴を認める方には傍聴証（別記様式）を渡しますので着用の上、会議の開会予定時刻までに、事務局の指示に従って入室し、所定の席に着席してください。

3 傍聴にあたって守るべき事項

傍聴者は、会議を傍聴するにあたり、次の事項を守ってください。

- (1) 会議開催中は、静粛に傍聴することとし、拍手その他の方法により賛成、反対の意向等を表明しないこと。
- (2) のぼり、旗、プラカード、鉢巻き、たすき、ゼッケンその他示威のために利用すると認められるものの携帯又は着用をしないこと。
- (3) 談話をし、又は騒ぎ立てる等、会議の妨害となるような行為をしないこと。
- (4) 会場において飲食又は喫煙をしないこと。
- (5) 会場において、写真撮影、録画、録音等を行わないこと。
ただし、事前に専門委員会の委員長（部会にあっては部会長。以下同じ。）が認めた場合は、この限りではありません。
- (6) 配布した資料のうち、専門委員会の委員長が指定したものについては、書き込み及び帯出をしないこと。
- (7) その他会議の議事運営に支障となる行為をしないこと。

4 会議の秩序の維持

- (1) 上記3の他、傍聴される方は、係員の指示に従ってください。
御不明な点は、係員にお聞きください。
- (2) 傍聴される方が以上のことを守られない場合は、退場していただくことがあります。
- (3) 会議中、会議の秩序維持ができなくなった場合及び緊急的に公開できない事項を取り扱う必要が生じた場合は、会議を途中で非公開とする場合があります。

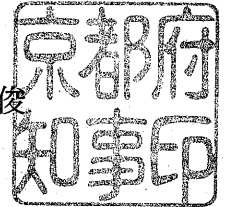
8 環 管 第 142 号

令和 8 年 5 月 20 日

京都府環境影響評価専門委員会

委員長 渡邊 紹裕 様

京都府知事 西脇 隆俊



乙訓環境衛生組合ごみ処理施設整備事業（仮称）に係る環境影響
評価方法書について（諮問）

京都府環境影響評価条例（平成10年京都府条例第17号。以下「条例」という。）第9条の規定により、下記の者から一般廃棄物処理施設の設置に係る環境影響評価方法書（以下「方法書」という。）の提出がありました。

つきましては、当該方法書の内容について、条例第13条第1項の規定により、貴専門委員会の意見を求めます。

記

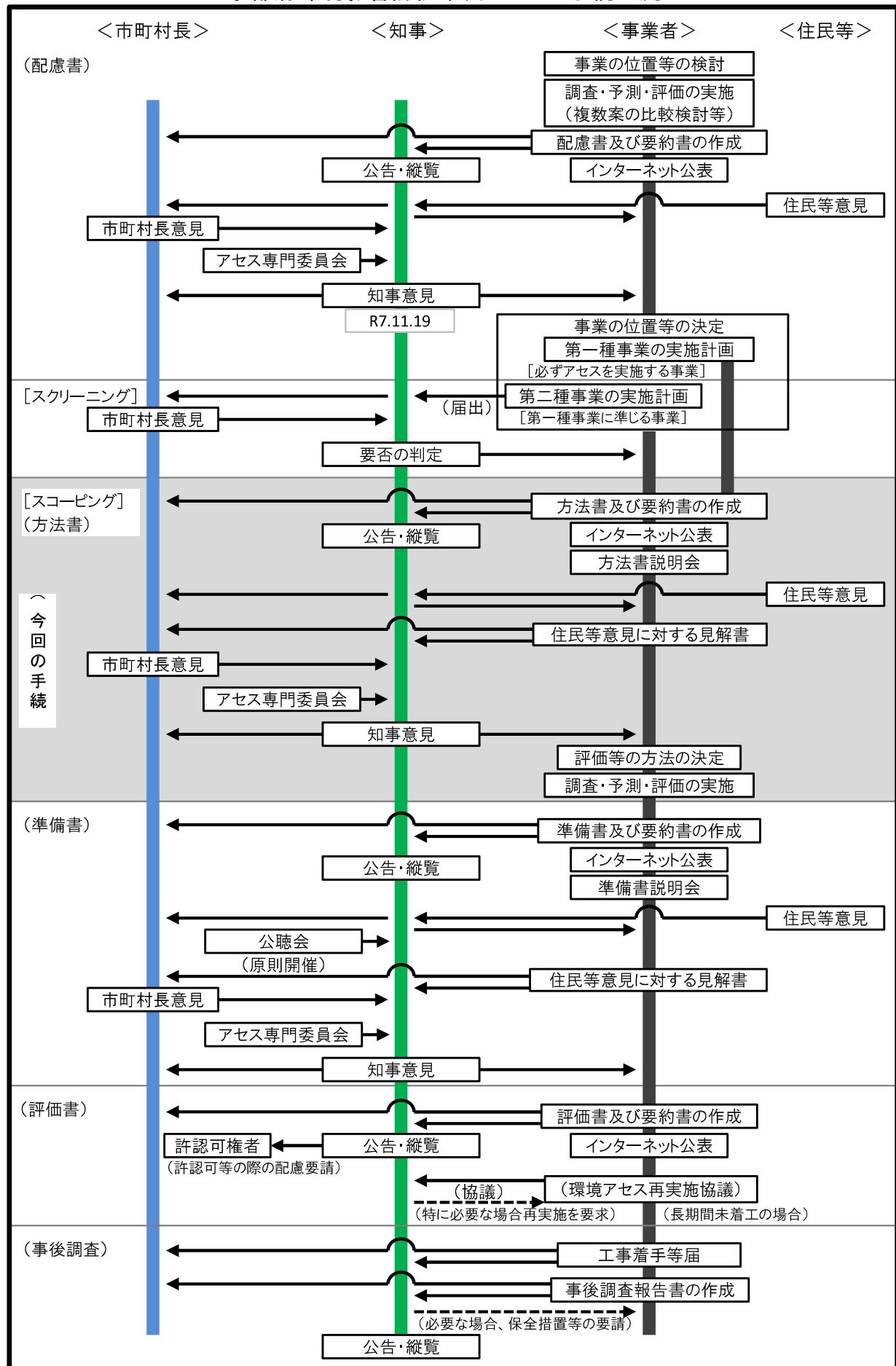
乙訓環境衛生組合

管理者 中小路 健吾

（諮問理由）

条例第13条第1項において、「知事は、方法書の内容について、専門委員会の意見を聴いた上で、環境の保全及び創造の見地からの審査を行い、規則で定める期間内に、対象事業に係る環境影響評価の項目及び調査等の手法その他規則で定める事項についての事業者に対する意見書を作成するものとする。」とされており、条例第9条の規定により乙訓環境衛生組合から提出のあった環境影響評価方法書の内容について、京都府環境影響評価専門委員会の意見を求めるものです。

京都府環境影響評価条例に基づく手続の流れ





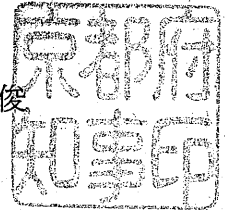
7 環 管 第 288 号

令和 7 年 11 月 19 日

乙訓環境衛生組合

管理者 前川 光 様

京都府知事 西脇 隆俊



乙訓環境衛生組合ごみ処理施設整備事業（仮称）に係る計画段階
環境配慮書に対する意見書について

令和 7 年 7 月 1 日付けで提出の上記計画段階環境配慮書について、京都府環境影響
評価条例（平成10年京都府条例第17号）第 7 条の 6 第 3 項の規定により、別添のとおり
意見書を送付します。

担当	環境管理課指導係
電話	075-414-4707
FAX	075-414-4705

別添

乙訓環境衛生組合ごみ処理施設整備事業（仮称）に係る計画段階環境配慮書に対する意見は、次のとおりです。

1 全般的事項

- 方法書以降の手続においては、以下の個別事項に留意するとともに、最新の情報の収集に努め、科学的知見に基づく十分かつ適切な調査、予測及び評価を行うこと。また、事業の実施による環境への影響をできる限り回避又は低減するよう必要な環境保全措置を検討すること。
- 現施設の解体工事による環境影響についても調査、予測及び評価を行い、必要な環境保全措置を検討すること。
- 環境影響評価手続を進めるに当たっては、周辺住民等に対し丁寧な説明を行うなど、十分な理解を得るよう努めること。

2 個別事項

（１）大気質

- 施設の稼働による排出ガスの影響については、年平均値のみでなく、局地風等の気象条件による短期的な影響も十分考慮すること。
- 調査、予測及び評価を行う項目の選定に当たっては、配慮書段階では選定していなかった塩化水素やPM_{2.5}も含め必要な検討を行うこと。また、大気質の調査、予測及び評価の方法については、その妥当性が確認できるよう、適切かつ分かりやすく方法書に記載すること。

（２）騒音・振動

- 工事用車両の走行による周辺住民等への影響についても十分な調査、予測及び評価を行い、必要に応じて適切な配慮を検討すること。

（３）動物・植物・生態系

- 実地調査等により現況を把握するとともに、長期的な影響も考慮して、必要に応じて適切な配慮を検討すること。

（４）景観

- 煙突や建物を含む施設全体の景観については、遠く離れた眺望点からの景観だけでなく、周辺からの日常的な景観も考慮の上、調査、予測及び評価を行うこと。

（５）温室効果ガス等

- 排出量低減の検討は、関連する温室効果ガス削減計画も踏まえるとともに、関係車両の走行や廃棄物焼却等の排出要因ごとに切り分けて排出量を算定した上で、できる限り具体的に行うこと。

（６）埋蔵文化財包蔵地

- 事業実施想定区域は長岡京跡に含まれるため、関係機関と協議の上、適切に対応すること。特に、過去に調査が行われていない深度までの掘削を行う場合には、埋蔵文化財への影響について十分に留意すること。

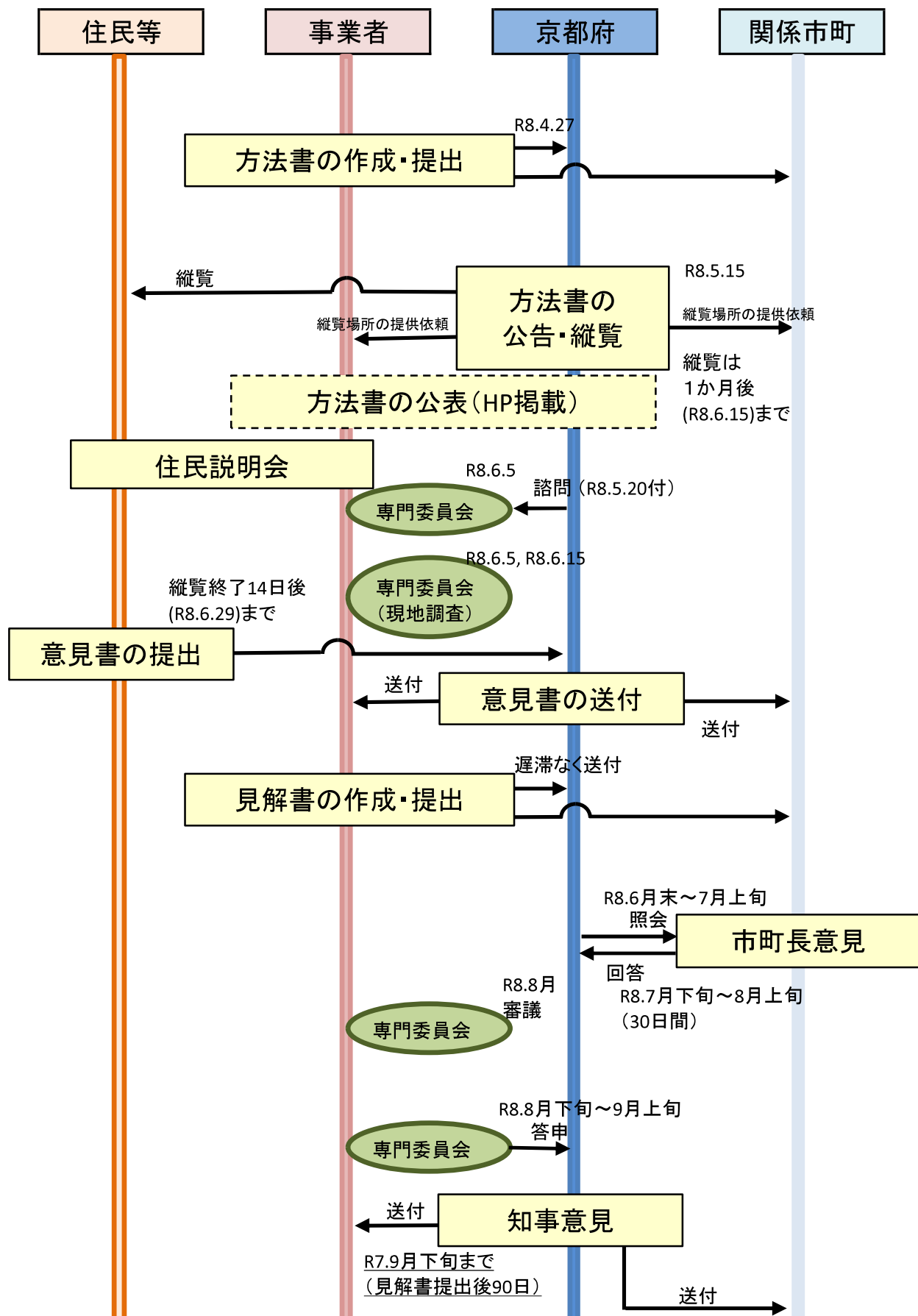
環境影響評価方法書の概要と手続等

事業者	乙訓環境衛生組合（管理者 中小路健吾）		
事業が実施されるべき区域	乙訓郡大山崎町字下植野小字南牧方 32		
事業名称	乙訓環境衛生組合ごみ処理施設整備事業（仮称）		
事業の内容	一般廃棄物焼却施設の設置 （京都府環境影響評価条例施行規則 別表 6（3） 廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 8 条第 1 項に規定する一般廃棄物処理施設であって焼却により処理するもの（以下「一般廃棄物焼却施設」という。）又は同法第 15 条第 1 項に規定する産業廃棄物処理施設であって焼却により処理するもの（以下「産業廃棄物焼却施設」という。）の設置の事業（処理能力が 1 時間当たり 4 トン以上であるものに限る。） 一般廃棄物の処理能力 123 トン／日（5.125 トン／時間）		
稼働開始年度（予定）	令和 15 年度		
事業計画案の概要	○煙突高さ 59m ○煙突位置 施設南側		
環境影響評価を実施しようとする地域	対象事業実施区域から半径 2.8km の範囲 （含まれる市町村：京都市、向日市、長岡京市、八幡市、大山崎町、久御山町） ＊煙突排ガスの最大着地濃度出現予想距離の概ね 4 倍		
環境影響評価項目 大気環境 騒音・振動・低周波音 水環境 地質・土壤環境 動物 植物 生態系 景観 人と自然との触れ合いの活動の場 廃棄物等 温室効果ガス等	工事中	造成等	粉じん、景観、廃棄物等
		建設機械	浮遊粒子状物質、NO ₂ 、微小粒子状物質、騒音、振動、温室効果ガス
		車両の走行	浮遊粒子状物質、NO ₂ 、粉じん、微小粒子状物質、騒音、振動、動物、植物、生態系、人と自然との触れ合いの場、温室効果ガス
		雨水の排水	水の濁り（SS）
	供用時	施設の存在	景観、人と自然との触れ合いの場、歴史的・文化的景観
		施設の稼働	SO ₂ 、浮遊粒子状物質、NO ₂ 、ダイオキシン類、HCl、水銀、降下ばいじん、粉じん、微小粒子状物質、騒音、低周波音、振動、悪臭、水質汚濁等、地下水、地盤沈下、土壤汚染、動物、植物、生態系、温室効果ガス
		車両の走行	（工事中と同項目）
		廃棄物発生	廃棄物等
	解体工事中	造成等	ダイオキシン類、粉じん、石綿、悪臭、地下水、地盤沈下、土壤汚染、廃棄物等
		建設機械	（工事中と同項目）
		車両の走行	（工事中と同項目）
		雨水の排水	水の濁り（SS）

年月日（予定）	手続等
令和 8 年 5 月 15 日	方法書公告・縦覧（～6/15）、意見募集（～6/29）
5 月 25 日～31 日	方法書説明会（事業者において実施、4 回開催）
6 月 5 日	環境影響評価専門委員会（第 1 回）・現地調査①
6 月 15 日	現地調査②
6 月下旬	一般意見書の送付（事業者、関係市町）
7 月下旬	関係市町長意見
8 月上旬頃	環境影響評価専門委員会（第 2 回）
8 月下旬～9 月上旬	環境影響評価専門委員会（第 3 回）
9 月中旬	知事意見送付

※現地調査①と②は同内容

乙訓環境衛生組合ごみ処理施設整備事業に係る
方法書手続の流れ



箇所	誤	正																																																																																																																																
1-26ページ d.環境保全目標 表1-25	表1-25 新ごみ処理施設環境保全目標 <table><tr><th colspan="2">項目</th><th>単位</th><th>法規制値・許容基準値</th><th>既存施設の自主基準値</th><th>新施設の自主基準値</th></tr><tr><td rowspan="6">排ガス</td><td>ばいじん</td><td>g/m³N</td><td>0.08 以下</td><td>0.01 以下</td><td>0.01 以下</td></tr><tr><td>塩化水素</td><td>ppm</td><td>約 430 以下</td><td>50 以下</td><td>50 以下</td></tr><tr><td>硫黄酸化物</td><td>ppm (K 値)</td><td>(2.34) (※ 1)</td><td>(2.34) (※ 1)</td><td>50 以下</td></tr><tr><td>窒素酸化物</td><td>ppm</td><td>250 以下</td><td>150 以下</td><td>100 以下</td></tr><tr><td>ダイオキシン類</td><td>ng-TEQ /m³N</td><td>0.1 以下</td><td>0.1 以下</td><td>0.05 以下</td></tr><tr><td>水銀</td><td>μg/m³N</td><td>30 以下 (※2)</td><td>50 以下</td><td>30 以下</td></tr><tr><td rowspan="3">騒音</td><td>朝・夕</td><td>デシベル</td><td>規制区域外</td><td>55 以下</td><td>55 以下</td></tr><tr><td>昼間</td><td>デシベル</td><td>規制区域外</td><td>65 以下</td><td>65 以下</td></tr><tr><td>夜間</td><td>デシベル</td><td>規制区域外</td><td>50 以下</td><td>50 以下</td></tr><tr><td rowspan="2">振動</td><td>昼間</td><td>デシベル</td><td>規制区域外</td><td>65 以下</td><td>65 以下</td></tr><tr><td>夜間</td><td>デシベル</td><td>規制区域外</td><td>60 以下</td><td>60 以下</td></tr></table>	項目		単位	法規制値・許容基準値	既存施設の自主基準値	新施設の自主基準値	排ガス	ばいじん	g/m³N	0.08 以下	0.01 以下	0.01 以下	塩化水素	ppm	約 430 以下	50 以下	50 以下	硫黄酸化物	ppm (K 値)	(2.34) (※ 1)	(2.34) (※ 1)	50 以下	窒素酸化物	ppm	250 以下	150 以下	100 以下	ダイオキシン類	ng-TEQ /m³N	0.1 以下	0.1 以下	0.05 以下	水銀	μg/m³N	30 以下 (※2)	50 以下	30 以下	騒音	朝・夕	デシベル	規制区域外	55 以下	55 以下	昼間	デシベル	規制区域外	65 以下	65 以下	夜間	デシベル	規制区域外	50 以下	50 以下	振動	昼間	デシベル	規制区域外	65 以下	65 以下	夜間	デシベル	規制区域外	60 以下	60 以下	表1-25 新ごみ処理施設環境保全目標 <table><tr><th colspan="2">項目</th><th>単位</th><th>法規制値・許容基準値</th><th>既存施設の自主基準値</th><th>新施設の自主基準値</th></tr><tr><td rowspan="6">排ガス</td><td>ばいじん</td><td>g/m³N</td><td>0.08 以下</td><td>0.01 以下</td><td>0.01 以下</td></tr><tr><td>塩化水素</td><td>ppm</td><td>約 430 以下</td><td>50 以下</td><td>50 以下</td></tr><tr><td>硫黄酸化物</td><td>ppm (K 値)</td><td>(2.34) (※ 1)</td><td>(2.34) (※ 1)</td><td>50 以下</td></tr><tr><td>窒素酸化物</td><td>ppm</td><td>250 以下</td><td>150 以下</td><td>100 以下</td></tr><tr><td>ダイオキシン類</td><td>ng-TEQ /m³N</td><td>1 以下</td><td>0.1 以下</td><td>0.05 以下</td></tr><tr><td>水銀</td><td>μg/m³N</td><td>30 以下 (※2)</td><td>50 以下</td><td>30 以下</td></tr><tr><td rowspan="3">騒音</td><td>朝・夕</td><td>デシベル</td><td>規制区域外</td><td>55 以下</td><td>55 以下</td></tr><tr><td>昼間</td><td>デシベル</td><td>規制区域外</td><td>65 以下</td><td>65 以下</td></tr><tr><td>夜間</td><td>デシベル</td><td>規制区域外</td><td>50 以下</td><td>50 以下</td></tr><tr><td rowspan="2">振動</td><td>昼間</td><td>デシベル</td><td>規制区域外</td><td>65 以下</td><td>65 以下</td></tr><tr><td>夜間</td><td>デシベル</td><td>規制区域外</td><td>60 以下</td><td>60 以下</td></tr></table>	項目		単位	法規制値・許容基準値	既存施設の自主基準値	新施設の自主基準値	排ガス	ばいじん	g/m³N	0.08 以下	0.01 以下	0.01 以下	塩化水素	ppm	約 430 以下	50 以下	50 以下	硫黄酸化物	ppm (K 値)	(2.34) (※ 1)	(2.34) (※ 1)	50 以下	窒素酸化物	ppm	250 以下	150 以下	100 以下	ダイオキシン類	ng-TEQ /m³N	1 以下	0.1 以下	0.05 以下	水銀	μg/m³N	30 以下 (※2)	50 以下	30 以下	騒音	朝・夕	デシベル	規制区域外	55 以下	55 以下	昼間	デシベル	規制区域外	65 以下	65 以下	夜間	デシベル	規制区域外	50 以下	50 以下	振動	昼間	デシベル	規制区域外	65 以下	65 以下	夜間	デシベル	規制区域外	60 以下	60 以下
項目		単位	法規制値・許容基準値	既存施設の自主基準値	新施設の自主基準値																																																																																																																													
排ガス	ばいじん	g/m³N	0.08 以下	0.01 以下	0.01 以下																																																																																																																													
	塩化水素	ppm	約 430 以下	50 以下	50 以下																																																																																																																													
	硫黄酸化物	ppm (K 値)	(2.34) (※ 1)	(2.34) (※ 1)	50 以下																																																																																																																													
	窒素酸化物	ppm	250 以下	150 以下	100 以下																																																																																																																													
	ダイオキシン類	ng-TEQ /m³N	0.1 以下	0.1 以下	0.05 以下																																																																																																																													
	水銀	μg/m³N	30 以下 (※2)	50 以下	30 以下																																																																																																																													
騒音	朝・夕	デシベル	規制区域外	55 以下	55 以下																																																																																																																													
	昼間	デシベル	規制区域外	65 以下	65 以下																																																																																																																													
	夜間	デシベル	規制区域外	50 以下	50 以下																																																																																																																													
振動	昼間	デシベル	規制区域外	65 以下	65 以下																																																																																																																													
	夜間	デシベル	規制区域外	60 以下	60 以下																																																																																																																													
項目		単位	法規制値・許容基準値	既存施設の自主基準値	新施設の自主基準値																																																																																																																													
排ガス	ばいじん	g/m³N	0.08 以下	0.01 以下	0.01 以下																																																																																																																													
	塩化水素	ppm	約 430 以下	50 以下	50 以下																																																																																																																													
	硫黄酸化物	ppm (K 値)	(2.34) (※ 1)	(2.34) (※ 1)	50 以下																																																																																																																													
	窒素酸化物	ppm	250 以下	150 以下	100 以下																																																																																																																													
	ダイオキシン類	ng-TEQ /m³N	1 以下	0.1 以下	0.05 以下																																																																																																																													
	水銀	μg/m³N	30 以下 (※2)	50 以下	30 以下																																																																																																																													
騒音	朝・夕	デシベル	規制区域外	55 以下	55 以下																																																																																																																													
	昼間	デシベル	規制区域外	65 以下	65 以下																																																																																																																													
	夜間	デシベル	規制区域外	50 以下	50 以下																																																																																																																													
振動	昼間	デシベル	規制区域外	65 以下	65 以下																																																																																																																													
	夜間	デシベル	規制区域外	60 以下	60 以下																																																																																																																													
2-2ページ 表2-2	表2-2 高質ごみの各成分から推定した排ガス量 <table><tr><th>項目</th><th>単位</th><th>値</th><th>計算式</th></tr><tr><td>理論空気量L0</td><td>(m³N/kg)</td><td>4.13</td><td>8.89c+26.7(h-o/8)+3.33s</td></tr><tr><td>空気比 λ</td><td>-</td><td>1.3</td><td></td></tr><tr><td>ごみ1kgあたりのガス量（湿）Vw</td><td>(m³N/kg)</td><td>6.18</td><td>1.867c+11.2h+1.244W+0.7s+0.8n+(λ-0.21)L0</td></tr><tr><td>ごみ1kgあたりのガス量（乾）Vd</td><td>(m³N/kg)</td><td>5.21</td><td>1.867c+0.7s+0.8n+(λ-0.21)L0</td></tr><tr><td>ごみ処理量 A</td><td>(kg/h)</td><td>5,125</td><td>124(t/24h)÷24*1000</td></tr><tr><td>排ガス量（湿）【推定値】</td><td>(m³N/kg)</td><td>31,673</td><td>Vw×A</td></tr><tr><td>排ガス量（乾）【推定値】</td><td>(m³N/kg)</td><td>26,701</td><td>Vd×A</td></tr></table>	項目	単位	値	計算式	理論空気量L0	(m³N/kg)	4.13	8.89c+26.7(h-o/8)+3.33s	空気比 λ	-	1.3		ごみ1kgあたりのガス量（湿）Vw	(m³N/kg)	6.18	1.867c+11.2h+1.244W+0.7s+0.8n+(λ-0.21)L0	ごみ1kgあたりのガス量（乾）Vd	(m³N/kg)	5.21	1.867c+0.7s+0.8n+(λ-0.21)L0	ごみ処理量 A	(kg/h)	5,125	124(t/24h)÷24*1000	排ガス量（湿）【推定値】	(m³N/kg)	31,673	Vw×A	排ガス量（乾）【推定値】	(m³N/kg)	26,701	Vd×A	表2-2 高質ごみの各成分から推定した排ガス量 <table><tr><th>項目</th><th>単位</th><th>値</th><th>計算式</th></tr><tr><td>理論空気量L0</td><td>(m³N/kg)</td><td>4.13</td><td>8.89c+26.7(h-o/8)+3.33s</td></tr><tr><td>空気比 λ</td><td>-</td><td>1.3</td><td></td></tr><tr><td>ごみ1kgあたりのガス量（湿）Vw</td><td>(m³N/kg)</td><td>6.18</td><td>1.867c+11.2h+1.244W+0.7s+0.8n+(λ-0.21)L0</td></tr><tr><td>ごみ1kgあたりのガス量（乾）Vd</td><td>(m³N/kg)</td><td>5.21</td><td>1.867c+0.7s+0.8n+(λ-0.21)L0</td></tr><tr><td>ごみ処理量 A</td><td>(kg/h)</td><td>5,125</td><td>123(t/24h)÷24*1000</td></tr><tr><td>排ガス量（湿）【推定値】</td><td>(m³N/h)</td><td>31,673</td><td>Vw×A</td></tr><tr><td>排ガス量（乾）【推定値】</td><td>(m³N/h)</td><td>26,701</td><td>Vd×A</td></tr></table>	項目	単位	値	計算式	理論空気量L0	(m³N/kg)	4.13	8.89c+26.7(h-o/8)+3.33s	空気比 λ	-	1.3		ごみ1kgあたりのガス量（湿）Vw	(m³N/kg)	6.18	1.867c+11.2h+1.244W+0.7s+0.8n+(λ-0.21)L0	ごみ1kgあたりのガス量（乾）Vd	(m³N/kg)	5.21	1.867c+0.7s+0.8n+(λ-0.21)L0	ごみ処理量 A	(kg/h)	5,125	123(t/24h)÷24*1000	排ガス量（湿）【推定値】	(m³N/h)	31,673	Vw×A	排ガス量（乾）【推定値】	(m³N/h)	26,701	Vd×A																																																																
項目	単位	値	計算式																																																																																																																															
理論空気量L0	(m³N/kg)	4.13	8.89c+26.7(h-o/8)+3.33s																																																																																																																															
空気比 λ	-	1.3																																																																																																																																
ごみ1kgあたりのガス量（湿）Vw	(m³N/kg)	6.18	1.867c+11.2h+1.244W+0.7s+0.8n+(λ-0.21)L0																																																																																																																															
ごみ1kgあたりのガス量（乾）Vd	(m³N/kg)	5.21	1.867c+0.7s+0.8n+(λ-0.21)L0																																																																																																																															
ごみ処理量 A	(kg/h)	5,125	124(t/24h)÷24*1000																																																																																																																															
排ガス量（湿）【推定値】	(m³N/kg)	31,673	Vw×A																																																																																																																															
排ガス量（乾）【推定値】	(m³N/kg)	26,701	Vd×A																																																																																																																															
項目	単位	値	計算式																																																																																																																															
理論空気量L0	(m³N/kg)	4.13	8.89c+26.7(h-o/8)+3.33s																																																																																																																															
空気比 λ	-	1.3																																																																																																																																
ごみ1kgあたりのガス量（湿）Vw	(m³N/kg)	6.18	1.867c+11.2h+1.244W+0.7s+0.8n+(λ-0.21)L0																																																																																																																															
ごみ1kgあたりのガス量（乾）Vd	(m³N/kg)	5.21	1.867c+0.7s+0.8n+(λ-0.21)L0																																																																																																																															
ごみ処理量 A	(kg/h)	5,125	123(t/24h)÷24*1000																																																																																																																															
排ガス量（湿）【推定値】	(m³N/h)	31,673	Vw×A																																																																																																																															
排ガス量（乾）【推定値】	(m³N/h)	26,701	Vd×A																																																																																																																															
2-76ページ ア.景観 上から3行目	により確認し、施設が視認可能である主要な地点を抽出した。	により確認し、施設が視認可能と想定される主要な地点を抽出した。																																																																																																																																

箇所	誤	正																																																																
3-9ページ 表3-7	表3-7 高質ごみの各成分から推定した排ガス量 <table><tr><th>項目</th><th>単位</th><th>値</th><th>計算式</th></tr><tr><td>理論空気量 L0</td><td>m³N/kg</td><td>4.13</td><td>8.89c+26.7(h-o/8)+3.33s</td></tr><tr><td>空気比 λ</td><td>-</td><td>1.3</td><td></td></tr><tr><td>ごみ 1kg あたりのガス量（湿） Vw</td><td>m³N/kg</td><td>6.18</td><td>1.867c+11.2h+1.244W+0.7s+0.8n+(λ-0.21)L0</td></tr><tr><td>ごみ 1kg あたりのガス量（乾） Vd</td><td>m³N/kg</td><td>5.21</td><td>1.867c+0.7s+0.8n+(λ-0.21)L0</td></tr><tr><td>ごみ処理量 A</td><td>kg/h</td><td>5,125</td><td>124(t/24h)÷24×1000</td></tr><tr><td>排ガス量（湿） 【推定値】</td><td>m³N/kg</td><td>31,673</td><td>Vw×A</td></tr><tr><td>排ガス量（乾） 【推定値】</td><td>m³N/kg</td><td>26,701</td><td>Vd×A</td></tr></table>	項目	単位	値	計算式	理論空気量 L0	m³N/kg	4.13	8.89c+26.7(h-o/8)+3.33s	空気比 λ	-	1.3		ごみ 1kg あたりのガス量（湿） Vw	m³N/kg	6.18	1.867c+11.2h+1.244W+0.7s+0.8n+(λ-0.21)L0	ごみ 1kg あたりのガス量（乾） Vd	m³N/kg	5.21	1.867c+0.7s+0.8n+(λ-0.21)L0	ごみ処理量 A	kg/h	5,125	124(t/24h)÷24×1000	排ガス量（湿） 【推定値】	m³N/kg	31,673	Vw×A	排ガス量（乾） 【推定値】	m³N/kg	26,701	Vd×A	表3-7 高質ごみの各成分から推定した排ガス量 <table><tr><th>項目</th><th>単位</th><th>値</th><th>計算式</th></tr><tr><td>理論空気量 L0</td><td>m³N/kg</td><td>4.13</td><td>8.89c+26.7(h-o/8)+3.33s</td></tr><tr><td>空気比 λ</td><td>-</td><td>1.3</td><td></td></tr><tr><td>ごみ 1kg あたりのガス量（湿） Vw</td><td>m³N/kg</td><td>6.18</td><td>1.867c+11.2h+1.244W+0.7s+0.8n+(λ-0.21)L0</td></tr><tr><td>ごみ 1kg あたりのガス量（乾） Vd</td><td>m³N/kg</td><td>5.21</td><td>1.867c+0.7s+0.8n+(λ-0.21)L0</td></tr><tr><td>ごみ処理量 A</td><td>kg/h</td><td>5,125</td><td>123(t/24h)÷24×1000</td></tr><tr><td>排ガス量（湿） 【推定値】</td><td>m³N/h</td><td>31,673</td><td>Vw×A</td></tr><tr><td>排ガス量（乾） 【推定値】</td><td>m³N/h</td><td>26,701</td><td>Vd×A</td></tr></table>	項目	単位	値	計算式	理論空気量 L0	m³N/kg	4.13	8.89c+26.7(h-o/8)+3.33s	空気比 λ	-	1.3		ごみ 1kg あたりのガス量（湿） Vw	m³N/kg	6.18	1.867c+11.2h+1.244W+0.7s+0.8n+(λ-0.21)L0	ごみ 1kg あたりのガス量（乾） Vd	m³N/kg	5.21	1.867c+0.7s+0.8n+(λ-0.21)L0	ごみ処理量 A	kg/h	5,125	123(t/24h)÷24×1000	排ガス量（湿） 【推定値】	m³N/h	31,673	Vw×A	排ガス量（乾） 【推定値】	m³N/h	26,701	Vd×A
項目	単位	値	計算式																																																															
理論空気量 L0	m³N/kg	4.13	8.89c+26.7(h-o/8)+3.33s																																																															
空気比 λ	-	1.3																																																																
ごみ 1kg あたりのガス量（湿） Vw	m³N/kg	6.18	1.867c+11.2h+1.244W+0.7s+0.8n+(λ-0.21)L0																																																															
ごみ 1kg あたりのガス量（乾） Vd	m³N/kg	5.21	1.867c+0.7s+0.8n+(λ-0.21)L0																																																															
ごみ処理量 A	kg/h	5,125	124(t/24h)÷24×1000																																																															
排ガス量（湿） 【推定値】	m³N/kg	31,673	Vw×A																																																															
排ガス量（乾） 【推定値】	m³N/kg	26,701	Vd×A																																																															
項目	単位	値	計算式																																																															
理論空気量 L0	m³N/kg	4.13	8.89c+26.7(h-o/8)+3.33s																																																															
空気比 λ	-	1.3																																																																
ごみ 1kg あたりのガス量（湿） Vw	m³N/kg	6.18	1.867c+11.2h+1.244W+0.7s+0.8n+(λ-0.21)L0																																																															
ごみ 1kg あたりのガス量（乾） Vd	m³N/kg	5.21	1.867c+0.7s+0.8n+(λ-0.21)L0																																																															
ごみ処理量 A	kg/h	5,125	123(t/24h)÷24×1000																																																															
排ガス量（湿） 【推定値】	m³N/h	31,673	Vw×A																																																															
排ガス量（乾） 【推定値】	m³N/h	26,701	Vd×A																																																															
3-10ページ 表3-9	表3-9 バックグラウンド濃度 <table><tr><th>項目</th><th>バックグラウンド濃度</th><th>備考</th></tr><tr><td>二酸化硫黄</td><td>0.001ppm</td><td>久御山測定局R3～R5の年平均値の平均</td></tr><tr><td>二酸化窒素</td><td>0.01ppm</td><td>大山崎測定局R3～R5の年平均値の平均</td></tr><tr><td>浮遊粒子状物質</td><td>0.015mg/m³</td><td>大山崎測定局R3～R5の年平均値の平均</td></tr><tr><td>ダイオキシン類</td><td>0.015pg-TEQ/m³</td><td>久御山測定局でのR3～R5の年平均値（1回/年）</td></tr><tr><td>水銀</td><td>1.63μg/m³</td><td>久御山測定局でのR3～R5の年平均値（1回/年）</td></tr></table>	項目	バックグラウンド濃度	備考	二酸化硫黄	0.001ppm	久御山測定局R3～R5の年平均値の平均	二酸化窒素	0.01ppm	大山崎測定局R3～R5の年平均値の平均	浮遊粒子状物質	0.015mg/m³	大山崎測定局R3～R5の年平均値の平均	ダイオキシン類	0.015pg-TEQ/m³	久御山測定局でのR3～R5の年平均値（1回/年）	水銀	1.63μg/m³	久御山測定局でのR3～R5の年平均値（1回/年）	表3-9 バックグラウンド濃度 <table><tr><th>項目</th><th>バックグラウンド濃度</th><th>備考</th></tr><tr><td>二酸化硫黄</td><td>0.001ppm</td><td>久御山測定局 R3～R5 の年平均値の平均</td></tr><tr><td>二酸化窒素</td><td>0.01ppm</td><td>大山崎測定局 R3～R5 の年平均値の平均</td></tr><tr><td>浮遊粒子状物質</td><td>0.015mg/m³</td><td>大山崎測定局 R3～R5 の年平均値の平均</td></tr><tr><td>ダイオキシン類</td><td>0.015pg-TEQ/m³</td><td>久御山測定局での R3～R5 の年平均値（1回/年）</td></tr><tr><td>水銀</td><td>1.63ng/m³</td><td>久御山測定局での R3～R5 の年平均値（1回/年）</td></tr></table>	項目	バックグラウンド濃度	備考	二酸化硫黄	0.001ppm	久御山測定局 R3～R5 の年平均値の平均	二酸化窒素	0.01ppm	大山崎測定局 R3～R5 の年平均値の平均	浮遊粒子状物質	0.015mg/m³	大山崎測定局 R3～R5 の年平均値の平均	ダイオキシン類	0.015pg-TEQ/m³	久御山測定局での R3～R5 の年平均値（1回/年）	水銀	1.63ng/m³	久御山測定局での R3～R5 の年平均値（1回/年）																												
項目	バックグラウンド濃度	備考																																																																
二酸化硫黄	0.001ppm	久御山測定局R3～R5の年平均値の平均																																																																
二酸化窒素	0.01ppm	大山崎測定局R3～R5の年平均値の平均																																																																
浮遊粒子状物質	0.015mg/m³	大山崎測定局R3～R5の年平均値の平均																																																																
ダイオキシン類	0.015pg-TEQ/m³	久御山測定局でのR3～R5の年平均値（1回/年）																																																																
水銀	1.63μg/m³	久御山測定局でのR3～R5の年平均値（1回/年）																																																																
項目	バックグラウンド濃度	備考																																																																
二酸化硫黄	0.001ppm	久御山測定局 R3～R5 の年平均値の平均																																																																
二酸化窒素	0.01ppm	大山崎測定局 R3～R5 の年平均値の平均																																																																
浮遊粒子状物質	0.015mg/m³	大山崎測定局 R3～R5 の年平均値の平均																																																																
ダイオキシン類	0.015pg-TEQ/m³	久御山測定局での R3～R5 の年平均値（1回/年）																																																																
水銀	1.63ng/m³	久御山測定局での R3～R5 の年平均値（1回/年）																																																																
4-6ページ 表4-2	表4-2 知事意見及び事業者(本組合)の見解 <table><tr><th>知事の見解</th><th>事業者（本組合）の見解</th></tr><tr><td>（５）温室効果ガス等</td><td></td></tr><tr><td>排出量低減の検討は、関連する温室効果ガス削減計画も踏まえるとともに、関係車両の走行や廃棄物焼却等の排出要因ごとに切り分けて排出量を算定した上で、できる限り具体的に行うこと。</td><td>温室効果ガスについては、建設工事中、供用時、解体工事中に区分して、運搬車両、建設機械、廃棄物焼却、排ガス処理、ごみ焼却灰処理、電力使用等、システム境界を明確にしたうえで、最新の「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル(Ver6.0)」(令和7年3月)に示された方法に準じて各排出量を算定します。また、2050年カーボンニュートラルの実現へ向けた環境保全措置については、熱回収及び廃棄物発電等の検討を進め、準備書において具体的な排出量低減策について検討します。</td></tr></table>	知事の見解	事業者（本組合）の見解	（５）温室効果ガス等		排出量低減の検討は、関連する温室効果ガス削減計画も踏まえるとともに、関係車両の走行や廃棄物焼却等の排出要因ごとに切り分けて排出量を算定した上で、できる限り具体的に行うこと。	温室効果ガスについては、建設工事中、供用時、解体工事中に区分して、運搬車両、建設機械、廃棄物焼却、排ガス処理、ごみ焼却灰処理、電力使用等、システム境界を明確にしたうえで、最新の「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル(Ver6.0)」(令和7年3月)に示された方法に準じて各排出量を算定します。また、2050年カーボンニュートラルの実現へ向けた環境保全措置については、熱回収及び廃棄物発電等の検討を進め、準備書において具体的な排出量低減策について検討します。	表4-2 知事意見及び事業者(本組合)の見解 <table><tr><th>知事の見解</th><th>事業者（本組合）の見解</th></tr><tr><td>（５）温室効果ガス等</td><td></td></tr><tr><td>排出量低減の検討は、関連する温室効果ガス削減計画も踏まえるとともに、関係車両の走行や廃棄物焼却等の排出要因ごとに切り分けて排出量を算定した上で、できる限り具体的に行うこと。</td><td>温室効果ガスについては、建設工事中、供用時、解体工事中に区分して、運搬車両、建設機械、廃棄物焼却、排ガス処理、ごみ焼却灰処理、電力使用等、システム境界を明確にしたうえで、最新の「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル(Ver6.1)」(令和8年3月)に示された方法に準じて各排出量を算定します。また、2050年カーボンニュートラルの実現へ向けた環境保全措置については、熱回収及び廃棄物発電等の検討を進め、準備書において具体的な排出量低減策について検討します。</td></tr></table>	知事の見解	事業者（本組合）の見解	（５）温室効果ガス等		排出量低減の検討は、関連する温室効果ガス削減計画も踏まえるとともに、関係車両の走行や廃棄物焼却等の排出要因ごとに切り分けて排出量を算定した上で、できる限り具体的に行うこと。	温室効果ガスについては、建設工事中、供用時、解体工事中に区分して、運搬車両、建設機械、廃棄物焼却、排ガス処理、ごみ焼却灰処理、電力使用等、システム境界を明確にしたうえで、最新の「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル(Ver6.1)」(令和8年3月)に示された方法に準じて各排出量を算定します。また、2050年カーボンニュートラルの実現へ向けた環境保全措置については、熱回収及び廃棄物発電等の検討を進め、準備書において具体的な排出量低減策について検討します。																																																				
知事の見解	事業者（本組合）の見解																																																																	
（５）温室効果ガス等																																																																		
排出量低減の検討は、関連する温室効果ガス削減計画も踏まえるとともに、関係車両の走行や廃棄物焼却等の排出要因ごとに切り分けて排出量を算定した上で、できる限り具体的に行うこと。	温室効果ガスについては、建設工事中、供用時、解体工事中に区分して、運搬車両、建設機械、廃棄物焼却、排ガス処理、ごみ焼却灰処理、電力使用等、システム境界を明確にしたうえで、最新の「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル(Ver6.0)」(令和7年3月)に示された方法に準じて各排出量を算定します。また、2050年カーボンニュートラルの実現へ向けた環境保全措置については、熱回収及び廃棄物発電等の検討を進め、準備書において具体的な排出量低減策について検討します。																																																																	
知事の見解	事業者（本組合）の見解																																																																	
（５）温室効果ガス等																																																																		
排出量低減の検討は、関連する温室効果ガス削減計画も踏まえるとともに、関係車両の走行や廃棄物焼却等の排出要因ごとに切り分けて排出量を算定した上で、できる限り具体的に行うこと。	温室効果ガスについては、建設工事中、供用時、解体工事中に区分して、運搬車両、建設機械、廃棄物焼却、排ガス処理、ごみ焼却灰処理、電力使用等、システム境界を明確にしたうえで、最新の「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル(Ver6.1)」(令和8年3月)に示された方法に準じて各排出量を算定します。また、2050年カーボンニュートラルの実現へ向けた環境保全措置については、熱回収及び廃棄物発電等の検討を進め、準備書において具体的な排出量低減策について検討します。																																																																	

箇所

4-7ページ

表4-3

表4-3 京都市長意見及び事業者(本組合)の見解

(3) 温室効果ガス

温室効果ガスについて、工事中及び施設供用時の運行車両・建設機械、廃棄物焼却、排ガス処理、ごみ焼却灰処理等、システム境界を明確にしたうえで各々の排出量を算定するとともに、2050 年カーボンニュートラルの実現に向けて、熱回収や廃棄物発電等の環境保全措置についても検討すること。

温室効果ガスについては、建設工事中、供用時、解体工事中に区分して、運搬車両、建設機械、廃棄物焼却、排ガス処理、ごみ焼却灰処理、電力使用等、システム境界を明確にしたうえで、最新の「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル(Ver6.0)」(令和7年3月)に示された方法に準じて各排出量を算定します。また、2050 年カーボンニュートラルの実現へ向けた環境保全措置については、熱回収及び廃棄物発電等の検討を進め、準備書において具体的な排出量低減策について検討します。

6-2ページ

(1)調査の手法

表6-1

表6-1 大気質調査の手法(大気質)

調査項目	調査手法	調査対象地域・地点	調査期間等
現地調査			
一般環境大気質			
二酸化硫黄	ステーション設置による自動連続測定 ・溶液導電率法又は紫外線蛍光法 (測定高さ：地上1.5m)	(地域) 調査地域 (地点) 対象事業実施区域1地点、対象事業実施区域周辺(東西南北、北東)5地点 (図6-1参照)	各季1週間(7日間)(※) (1時間値測定) (1地点につき1検体/7日間)
浮遊粒子状物質	ステーション設置による自動連続測定 ・ベータ線吸収法 (測定高さ：地上3m)		
二酸化窒素	ステーション設置による自動連続測定 ・ザルツマン試薬を用いる吸光度法又はオゾンを用いる化学発光法 (測定高さ：地上1.5m)		
微小粒子状物質	ステーション設置による自動連続測定 ・濾過捕集による質量濃度測定方法又はこの方法によって測定された質量濃度と等価な値が得られると認められる自動測定機による方法 (測定高さ：地上3m)		
ダイオキシン類	サンプリング分析(簡易測定) ・ハイボリウム・エアサンプラー捕集、高分解能ガスクロマトグラフ質量分析計による方法 (測定高さ：地上3m)		各季1週間(7日間)(※) (1地点につき1検体/7日間)
塩化水素	サンプリング分析(簡易測定) ・イオンクロマトグラフ法 (測定高さ：地上1.5m)		各季1週間(7日間)(※) (1地点につき1検体/1日)
水銀	サンプリング分析(簡易測定) ・金アマルガム捕集・加熱気化、非分散冷原子吸光法 (測定高さ：地上1.5m)		
降下ばいじん	サンプリング分析 ・ダストジャーによる捕集法、重量法 (測定高さ：地上2～5m)	(地域) 調査地域 (地点) 対象事業実施区域1地点 (図6-1参照)	各季1ヵ月(30日間)(※) (1地点につき1検体/月)

正

表4-3 京都市長意見及び事業者(本組合)の見解

(3) 温室効果ガス

温室効果ガスについて、工事中及び施設供用時の運行車両・建設機械、廃棄物焼却、排ガス処理、ごみ焼却灰処理等、システム境界を明確にしたうえで各々の排出量を算定するとともに、2050 年カーボンニュートラルの実現に向けて、熱回収や廃棄物発電等の環境保全措置についても検討すること。

温室効果ガスについては、建設工事中、供用時、解体工事中に区分して、運搬車両、建設機械、廃棄物焼却、排ガス処理、ごみ焼却灰処理、電力使用等、システム境界を明確にしたうえで、最新の「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル(Ver6.1)」(令和8年3月)に示された方法に準じて各排出量を算定します。また、2050 年カーボンニュートラルの実現へ向けた環境保全措置については、熱回収及び廃棄物発電等の検討を進め、準備書において具体的な排出量低減策について検討します。

表6-1 大気質調査の手法(大気質)

調査項目	調査手法	調査対象地域・地点	調査期間等
現地調査			
一般環境大気質			
二酸化硫黄	ステーション設置による自動連続測定 ・溶液導電率法又は紫外線蛍光法 (測定高さ：地上1.5m)	(地域) 調査地域 (地点) 対象事業実施区域1地点、対象事業実施区域周辺(東西南北、北東)5地点 (図6-1参照)	各季1週間(7日間)(※) (1時間値測定)
浮遊粒子状物質	ステーション設置による自動連続測定 ・ベータ線吸収法 (測定高さ：地上3m)		
二酸化窒素	ステーション設置による自動連続測定 ・ザルツマン試薬を用いる吸光度法又はオゾンを用いる化学発光法 (測定高さ：地上1.5m)		
微小粒子状物質	サンプリング分析(簡易測定) ・濾過捕集による質量濃度測定方法(測定高さ：地上3m)		各季1週間(7日間)(※) (1地点につき1検体/日)
ダイオキシン類	サンプリング分析(簡易測定) ・ハイボリウム・エアサンプラー捕集、高分解能ガスクロマトグラフ質量分析計による方法 (測定高さ：地上3m)		各季1週間(7日間)(※) (1地点につき1検体/7日間)
塩化水素	サンプリング分析(簡易測定) ・イオンクロマトグラフ法 (測定高さ：地上1.5m)		各季1週間(7日間)(※) (1地点につき1検体/日)
水銀	サンプリング分析(簡易測定) ・金アマルガム捕集・加熱気化、非分散冷原子吸光法 (測定高さ：地上1.5m)		
降下ばいじん	サンプリング分析 ・ダストジャーによる捕集法、重量法 (測定高さ：地上2～5m)	(地域) 調査地域 (地点) 対象事業実施区域1地点 (図6-1参照)	各季1ヵ月(30日間)(※) (1地点につき1検体/月)

箇所	誤	正																																						
6-3ページ 6-1-1大気質 表6-1 現地調査 沿道大気質 調査期間等	<table><tr><th>調査項目</th><th>調査手法</th><th>調査対象地域・地点</th><th>調査期間等</th></tr><tr><td colspan="4">沿道大気質</td></tr><tr><td>浮遊粒子状物質</td><td>ステーション設置による自動連続測定 ・ベータ線吸収法 (測定高さ：地上3m)</td><td rowspan="4">(地域) 運搬車両の走行道路沿道 (地点) 運搬車両の走行ルート (A) (B) の2地点 (図 6-2 参照)</td><td rowspan="3">各季 1 週間 (7 日間) (※) (1 時間値測定) (1 地点につき 1 検体/日)</td></tr><tr><td>二酸化窒素</td><td>ステーション設置による自動連続測定 ・ザルツマン試薬を用いる吸光光度法又はオゾンを用いる化学発光法 (測定高さ：地上1.5m)</td></tr><tr><td>微小粒子状物質</td><td>ステーション設置による自動連続測定 ・濾過捕集による質量濃度測定方法又はこの方法によって測定された質量濃度と等価な値が得られると認められる自動測定機による方法 (測定高さ：地上3m)</td></tr><tr><td>粉じん</td><td>サンプリング分析 ・ダストジャーによる捕集法、重量法 (測定高さ：地上2～5m)</td><td>各季 1 ヶ月 (30 日間) (※) (1 地点につき 1 検体/月)</td></tr></table>	調査項目	調査手法	調査対象地域・地点	調査期間等	沿道大気質				浮遊粒子状物質	ステーション設置による自動連続測定 ・ベータ線吸収法 (測定高さ：地上3m)	(地域) 運搬車両の走行道路沿道 (地点) 運搬車両の走行ルート (A) (B) の2地点 (図 6-2 参照)	各季 1 週間 (7 日間) (※) (1 時間値測定) (1 地点につき 1 検体/日)	二酸化窒素	ステーション設置による自動連続測定 ・ザルツマン試薬を用いる吸光光度法又はオゾンを用いる化学発光法 (測定高さ：地上1.5m)	微小粒子状物質	ステーション設置による自動連続測定 ・濾過捕集による質量濃度測定方法又はこの方法によって測定された質量濃度と等価な値が得られると認められる自動測定機による方法 (測定高さ：地上3m)	粉じん	サンプリング分析 ・ダストジャーによる捕集法、重量法 (測定高さ：地上2～5m)	各季 1 ヶ月 (30 日間) (※) (1 地点につき 1 検体/月)	<table><tr><th>調査項目</th><th>調査手法</th><th>調査対象地域・地点</th><th>調査期間等</th></tr><tr><td colspan="4">沿道大気質</td></tr><tr><td>浮遊粒子状物質</td><td>ステーション設置による自動連続測定 ・ベータ線吸収法 (測定高さ：地上3m)</td><td rowspan="4">(地域) 運搬車両の走行道路沿道 (地点) 運搬車両の走行ルート (A) (B) の2地点 (図 6-2 参照)</td><td rowspan="3">各季 1 週間 (7 日間) (※) (1 時間値測定)</td></tr><tr><td>二酸化窒素</td><td>ステーション設置による自動連続測定 ・ザルツマン試薬を用いる吸光光度法又はオゾンを用いる化学発光法 (測定高さ：地上1.5m)</td></tr><tr><td>微小粒子状物質</td><td>サンプリング分析 (簡易分析) ・濾過捕集による質量濃度測定方法 (測定高さ：地上3m)</td></tr><tr><td>粉じん</td><td>サンプリング分析 ・ダストジャーによる捕集法、重量法 (測定高さ：地上2～5m)</td><td>各季 1 ヶ月 (30 日間) (※) (1 地点につき 1 検体/月)</td></tr></table>	調査項目	調査手法	調査対象地域・地点	調査期間等	沿道大気質				浮遊粒子状物質	ステーション設置による自動連続測定 ・ベータ線吸収法 (測定高さ：地上3m)	(地域) 運搬車両の走行道路沿道 (地点) 運搬車両の走行ルート (A) (B) の2地点 (図 6-2 参照)	各季 1 週間 (7 日間) (※) (1 時間値測定)	二酸化窒素	ステーション設置による自動連続測定 ・ザルツマン試薬を用いる吸光光度法又はオゾンを用いる化学発光法 (測定高さ：地上1.5m)	微小粒子状物質	サンプリング分析 (簡易分析) ・濾過捕集による質量濃度測定方法 (測定高さ：地上3m)	粉じん	サンプリング分析 ・ダストジャーによる捕集法、重量法 (測定高さ：地上2～5m)	各季 1 ヶ月 (30 日間) (※) (1 地点につき 1 検体/月)
調査項目	調査手法	調査対象地域・地点	調査期間等																																					
沿道大気質																																								
浮遊粒子状物質	ステーション設置による自動連続測定 ・ベータ線吸収法 (測定高さ：地上3m)	(地域) 運搬車両の走行道路沿道 (地点) 運搬車両の走行ルート (A) (B) の2地点 (図 6-2 参照)	各季 1 週間 (7 日間) (※) (1 時間値測定) (1 地点につき 1 検体/日)																																					
二酸化窒素	ステーション設置による自動連続測定 ・ザルツマン試薬を用いる吸光光度法又はオゾンを用いる化学発光法 (測定高さ：地上1.5m)																																							
微小粒子状物質	ステーション設置による自動連続測定 ・濾過捕集による質量濃度測定方法又はこの方法によって測定された質量濃度と等価な値が得られると認められる自動測定機による方法 (測定高さ：地上3m)																																							
粉じん	サンプリング分析 ・ダストジャーによる捕集法、重量法 (測定高さ：地上2～5m)		各季 1 ヶ月 (30 日間) (※) (1 地点につき 1 検体/月)																																					
調査項目	調査手法	調査対象地域・地点	調査期間等																																					
沿道大気質																																								
浮遊粒子状物質	ステーション設置による自動連続測定 ・ベータ線吸収法 (測定高さ：地上3m)	(地域) 運搬車両の走行道路沿道 (地点) 運搬車両の走行ルート (A) (B) の2地点 (図 6-2 参照)	各季 1 週間 (7 日間) (※) (1 時間値測定)																																					
二酸化窒素	ステーション設置による自動連続測定 ・ザルツマン試薬を用いる吸光光度法又はオゾンを用いる化学発光法 (測定高さ：地上1.5m)																																							
微小粒子状物質	サンプリング分析 (簡易分析) ・濾過捕集による質量濃度測定方法 (測定高さ：地上3m)																																							
粉じん	サンプリング分析 ・ダストジャーによる捕集法、重量法 (測定高さ：地上2～5m)		各季 1 ヶ月 (30 日間) (※) (1 地点につき 1 検体/月)																																					
6-8ページ オ. 調査期間等 a.大気質汚染物質 上から3行目～6行目	二酸化硫黄、浮遊粒子状物質、二酸化窒素及び微小粒子状物質は、各季1週間(7日間)、自動測定機器にて1時間値を測定する。 ダイオキシン類は、各季1週間(7日間)の連続吸引による試料採取を行う。 塩化水素及び水銀は、各季1週間(7日間)、1検体/日・地点の試料採取を行う。	二酸化硫黄、浮遊粒子状物質及び二酸化窒素は、各季1週間(7日間)、自動測定機器にて1時間値を測定する。 ダイオキシン類は、各季1週間(7日間)の連続吸引による試料採取を行う。 微小粒子状物質、塩化水素及び水銀は、各季1週間(7日間)、1検体/日・地点の試料採取を行う。																																						

箇所

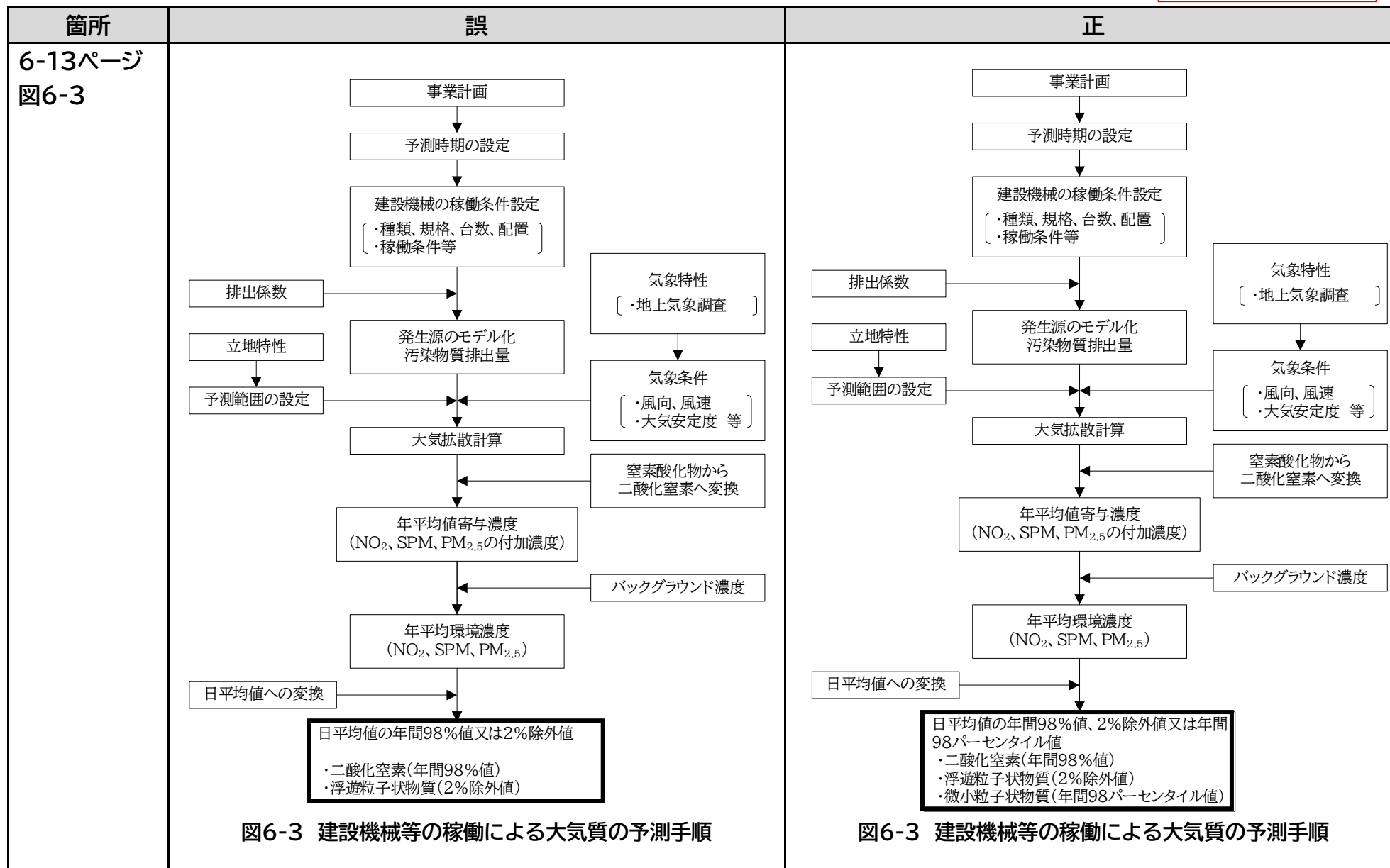
6-10ページ
(2)予測の手法 表6-4

誤

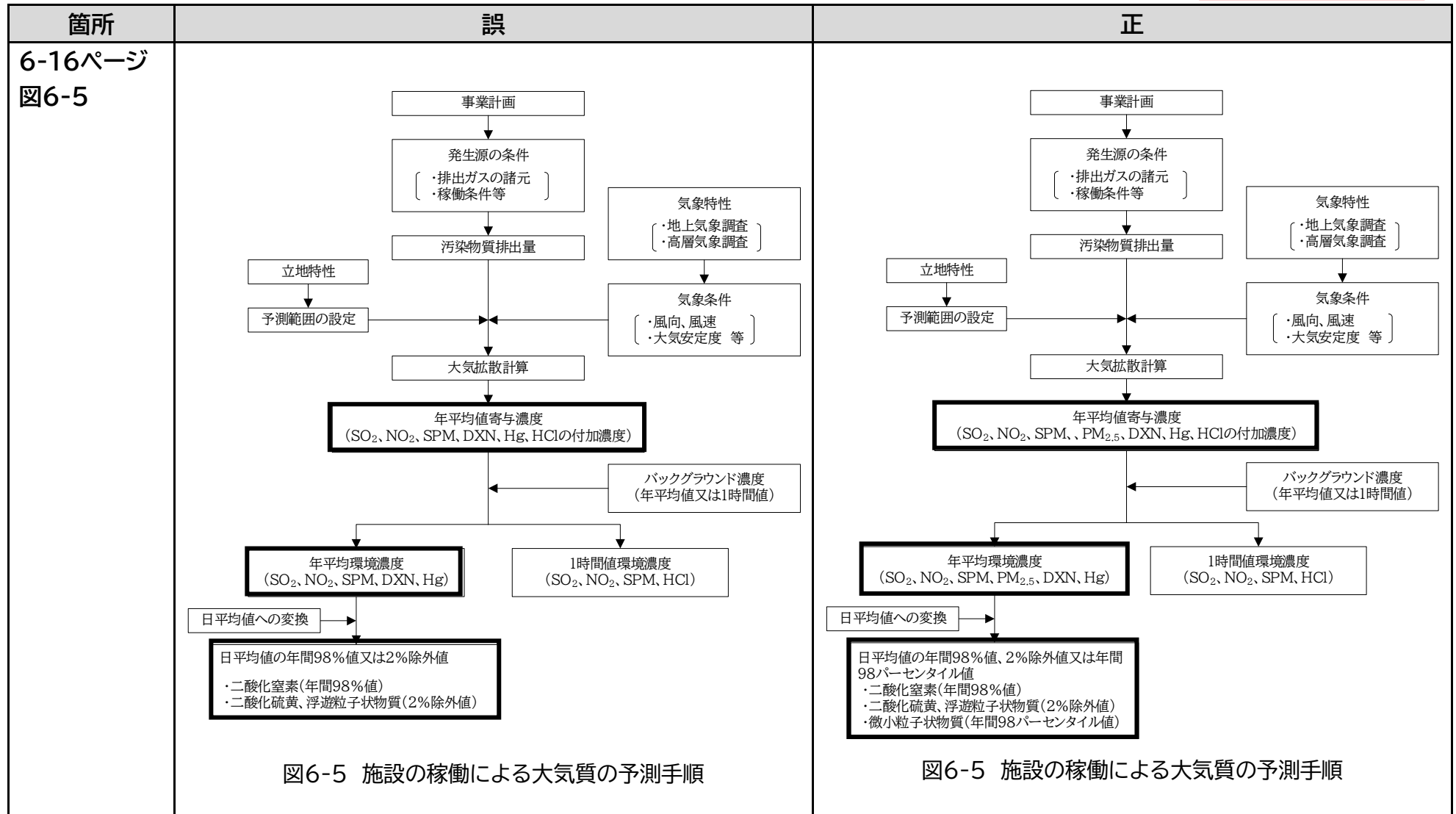
予測項目	予測の基本的な手法	予測地域・地点	予測対象時期等
供用時			
施設の稼働（煙突排出ガス）			
二酸化硫黄、浮遊粒子状物質、二酸化窒素、微小粒子状物質濃度の年平均値及び1時間値			
	〔年平均値〕 「窒素酸化物総量規制マニュアル（新版）」（平成12年、公害研究対策センター）に示されたブルーム・パフモデルを基本とした大気拡散モデルにより計算（参考として、地形影響を考慮した3次元移流拡散モデルによる濃度予測も実施） 〔1時間値〕 「窒素酸化物総量規制マニュアル（新版）」及び「ごみ焼却施設環境アセスメントマニュアル」（昭和61年、厚生省生活衛生局監修）に示されたブルーム・パフモデルを基本とした大気拡散モデルにより計算（一般的な気象条件時、上層逆転層出現時、ダウンウォッシュ時、接地逆転層崩壊時を基本）	（地域）調査地域 （地点）事業実施に伴う影響範囲	事業活動が定常状態となる時期
降下ばいじんの月平均値			
	〔月平均値〕 類似施設の調査結果を参考に、新施設の稼働による負荷、環境保全対策などを踏まえた定性的な予測	（地域）調査地域 （地点）事業実施に伴う影響範囲	事業活動が定常状態となる時期
ダイオキシン類及び水銀濃度の年平均値			
	〔年平均値〕 「窒素酸化物総量規制マニュアル（新版）」（平成12年、公害研究対策センター）に示されたブルーム・パフモデルを基本とした大気拡散モデルにより計算（参考として、地形影響を考慮した3次元移流拡散モデルによる濃度予測も実施）	（地域）調査地域 （地点）事業実施に伴う影響範囲	事業活動が定常状態となる時期
塩化水素濃度の1時間値			
	「窒素酸化物総量規制マニュアル（新版）」（平成12年、公害研究対策センター）及び「ごみ焼却施設環境アセスメントマニュアル」（昭和61年、厚生省生活衛生局監修）に示されたブルーム・パフモデルを基本とした大気拡散モデルにより計算（一般的な気象条件時、上層逆転層出現時、ダウンウォッシュ時、接地逆転層崩壊時を基本）	（地域）調査地域 （地点）事業実施に伴う影響範囲	事業活動が定常状態となる時期
施設の稼働（粗大ごみ処理設備等）			
粉じん			
	同種・同規模の破砕処理設備における事後調査結果及び排出実態を踏まえた定性的な予測	（地域）対象事業実施区域周辺 （地点）対象事業実施区域周辺（敷地境界周辺）	事業活動が定常状態となる時期

正

予測項目	予測の基本的な手法	予測地域・地点	予測対象時期等
供用時			
施設の稼働（煙突排出ガス）			
二酸化硫黄、浮遊粒子状物質、二酸化窒素濃度の年平均値及び1時間値			
	〔年平均値〕 「窒素酸化物総量規制マニュアル（新版）」（平成12年、公害研究対策センター）に示されたブルーム・パフモデルを基本とした大気拡散モデルにより計算（参考として、地形影響を考慮した3次元移流拡散モデルによる濃度予測も実施） 〔1時間値〕 「窒素酸化物総量規制マニュアル（新版）」及び「ごみ焼却施設環境アセスメントマニュアル」（昭和61年、厚生省生活衛生局監修）に示されたブルーム・パフモデルを基本とした大気拡散モデルにより計算（一般的な気象条件時、上層逆転層出現時、ダウンウォッシュ時、接地逆転層崩壊時を基本）	（地域）調査地域 （地点）事業実施に伴う影響範囲	事業活動が定常状態となる時期
降下ばいじんの月平均値			
	〔月平均値〕 類似施設の調査結果を参考に、新施設の稼働による負荷、環境保全対策などを踏まえた定性的な予測	（地域）調査地域 （地点）事業実施に伴う影響範囲	事業活動が定常状態となる時期
ダイオキシン類、水銀及び微小粒子状物質濃度の年平均値			
	〔年平均値〕 「窒素酸化物総量規制マニュアル（新版）」（平成12年、公害研究対策センター）に示されたブルーム・パフモデルを基本とした大気拡散モデルにより計算（参考として、地形影響を考慮した3次元移流拡散モデルによる濃度予測も実施）	（地域）調査地域 （地点）事業実施に伴う影響範囲	事業活動が定常状態となる時期
塩化水素濃度の1時間値			
	「窒素酸化物総量規制マニュアル（新版）」（平成12年、公害研究対策センター）及び「ごみ焼却施設環境アセスメントマニュアル」（昭和61年、厚生省生活衛生局監修）に示されたブルーム・パフモデルを基本とした大気拡散モデルにより計算（一般的な気象条件時、上層逆転層出現時、ダウンウォッシュ時、接地逆転層崩壊時を基本）	（地域）調査地域 （地点）事業実施に伴う影響範囲	事業活動が定常状態となる時期
施設の稼働（粗大ごみ処理設備等）			
粉じん			
	同種・同規模の破砕処理設備における事後調査結果及び排出実態を踏まえた定性的な予測	（地域）対象事業実施区域周辺 （地点）対象事業実施区域周辺（敷地境界周辺）	事業活動が定常状態となる時期



箇所	誤	正
6-15ページ d.供用時の施設の稼働(煙突排ガス) 上から4行目 ～5行目	微小粒子状物質については、年間の平均的な気象条件での年平均値及び短時間高濃度発生条件での1時間値とする。	微小粒子状物質については、年間の平均的な気象条件での年平均値とする。
6-15ページ d.供用時の施設の稼働(煙突排ガス) 上から6行目	ダイオキシン類については、 <u>月間の平均的な堆積量(月間降下量、年平均値)</u> とする。	ダイオキシン類については、 <u>年間の平均的な気象条件での年平均値</u> とする。
6-15ページ d.供用時の施設の稼働(煙突排ガス) 上から8行目	水銀については、 <u>月間の平均的な堆積量(月間降下量、年平均値)</u> とする。	水銀については、 <u>年間の平均的な気象条件での年平均値</u> とする。



箇所	誤	正																																																																																																																																																																																
6-32ページ 6-2-3振動 表6-14 供用時 予測地域・地点	<table><tr><th colspan="4">供用時</th></tr><tr><th colspan="4">施設の稼働</th></tr><tr><td colspan="4">工場・事業場振動（振動レベル80%レンジ上端値）</td></tr><tr><td>「廃棄物処理施設生活環境影響調査指針（平成18年9月 環境省）」に示された振動の伝搬計算式により数値計算</td><td>（地域）対象事業実施区域周辺（地点）対象事業実施区域（敷地境界）（振動レベルが最大となる地点）</td><td>事業活動が定常状態となる時期</td><td></td></tr><tr><th colspan="4">廃棄物運搬車両等の走行</th></tr><tr><td colspan="4">道路交通振動（振動レベル80%レンジ上端値）</td></tr><tr><td>「道路環境影響評価の技術手法（平成24年度版 土木研究所資料第4254号）」に示された振動の伝搬計算式により数値計算</td><td>（地域）運搬車両の走行道路沿道（地点）運搬車両の走行ルート（A）（B）の2地点（図6-11参照）</td><td>供用時による環境影響が最大となる時期</td><td></td></tr></table>	供用時				施設の稼働				工場・事業場振動（振動レベル80%レンジ上端値）				「廃棄物処理施設生活環境影響調査指針（平成18年9月 環境省）」に示された振動の伝搬計算式により数値計算	（地域）対象事業実施区域周辺（地点）対象事業実施区域（敷地境界）（振動レベルが最大となる地点）	事業活動が定常状態となる時期		廃棄物運搬車両等の走行				道路交通振動（振動レベル80%レンジ上端値）				「道路環境影響評価の技術手法（平成24年度版 土木研究所資料第4254号）」に示された振動の伝搬計算式により数値計算	（地域）運搬車両の走行道路沿道（地点）運搬車両の走行ルート（A）（B）の2地点（図6-11参照）	供用時による環境影響が最大となる時期		<table><tr><th colspan="4">供用時</th></tr><tr><th colspan="4">施設の稼働</th></tr><tr><td colspan="4">工場・事業場振動（振動レベル80%レンジ上端値）</td></tr><tr><td>「廃棄物処理施設生活環境影響調査指針（平成18年9月 環境省）」に示された振動の伝搬計算式により数値計算</td><td>（地域）対象事業実施区域周辺（地点）対象事業実施区域（敷地境界）（振動レベルが最大となる地点）</td><td>事業活動が定常状態となる時期</td><td></td></tr><tr><th colspan="4">廃棄物運搬車両等の走行</th></tr><tr><td colspan="4">道路交通振動（振動レベル80%レンジ上端値）</td></tr><tr><td>「道路環境影響評価の技術手法（平成24年度版 土木研究所資料第4254号）」に示された振動の伝搬計算式により数値計算</td><td>（地域）運搬車両の走行道路沿道（地点）運搬車両の走行ルート（A）の1地点（図6-11参照）</td><td>供用時による環境影響が最大となる時期</td><td></td></tr></table>	供用時				施設の稼働				工場・事業場振動（振動レベル80%レンジ上端値）				「廃棄物処理施設生活環境影響調査指針（平成18年9月 環境省）」に示された振動の伝搬計算式により数値計算	（地域）対象事業実施区域周辺（地点）対象事業実施区域（敷地境界）（振動レベルが最大となる地点）	事業活動が定常状態となる時期		廃棄物運搬車両等の走行				道路交通振動（振動レベル80%レンジ上端値）				「道路環境影響評価の技術手法（平成24年度版 土木研究所資料第4254号）」に示された振動の伝搬計算式により数値計算	（地域）運搬車両の走行道路沿道（地点）運搬車両の走行ルート（A）の1地点（図6-11参照）	供用時による環境影響が最大となる時期																																																																																																																									
供用時																																																																																																																																																																																		
施設の稼働																																																																																																																																																																																		
工場・事業場振動（振動レベル80%レンジ上端値）																																																																																																																																																																																		
「廃棄物処理施設生活環境影響調査指針（平成18年9月 環境省）」に示された振動の伝搬計算式により数値計算	（地域）対象事業実施区域周辺（地点）対象事業実施区域（敷地境界）（振動レベルが最大となる地点）	事業活動が定常状態となる時期																																																																																																																																																																																
廃棄物運搬車両等の走行																																																																																																																																																																																		
道路交通振動（振動レベル80%レンジ上端値）																																																																																																																																																																																		
「道路環境影響評価の技術手法（平成24年度版 土木研究所資料第4254号）」に示された振動の伝搬計算式により数値計算	（地域）運搬車両の走行道路沿道（地点）運搬車両の走行ルート（A）（B）の2地点（図6-11参照）	供用時による環境影響が最大となる時期																																																																																																																																																																																
供用時																																																																																																																																																																																		
施設の稼働																																																																																																																																																																																		
工場・事業場振動（振動レベル80%レンジ上端値）																																																																																																																																																																																		
「廃棄物処理施設生活環境影響調査指針（平成18年9月 環境省）」に示された振動の伝搬計算式により数値計算	（地域）対象事業実施区域周辺（地点）対象事業実施区域（敷地境界）（振動レベルが最大となる地点）	事業活動が定常状態となる時期																																																																																																																																																																																
廃棄物運搬車両等の走行																																																																																																																																																																																		
道路交通振動（振動レベル80%レンジ上端値）																																																																																																																																																																																		
「道路環境影響評価の技術手法（平成24年度版 土木研究所資料第4254号）」に示された振動の伝搬計算式により数値計算	（地域）運搬車両の走行道路沿道（地点）運搬車両の走行ルート（A）の1地点（図6-11参照）	供用時による環境影響が最大となる時期																																																																																																																																																																																
6-96ページ 表6-51	表6-51 温室効果ガスの予測の手法 <table><tr><th>予測項目</th><th>予測の基本的な手法</th><th>予測地域・地点</th><th>予測対象時期等</th></tr><tr><td colspan="4">建設工事中</td></tr><tr><td colspan="4">建設機械等の稼働</td></tr><tr><td colspan="4">温室効果ガスの排出量</td></tr><tr><td>「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.0」（令和7年3月、環境省・経済産業省）に基づき算定</td><td>（地域・地点）対象事業実施区域</td><td>工事期間</td><td></td></tr><tr><td colspan="4">資材等の運搬車両の走行</td></tr><tr><td colspan="4">温室効果ガスの排出量</td></tr><tr><td>「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.0」（令和7年3月、環境省・経済産業省）に基づき算定</td><td>（地域）運搬車両の走行道路（地点）運搬車両の走行ルート（A）（B）の2地点（図6-6参照）</td><td>工事期間</td><td></td></tr><tr><td colspan="4">供用時</td></tr><tr><td colspan="4">施設の稼働</td></tr><tr><td colspan="4">温室効果ガスの排出量</td></tr><tr><td>「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.0」（令和7年3月、環境省・経済産業省）に基づき算定</td><td>（地域・地点）対象事業実施区域</td><td>供用時</td><td></td></tr><tr><td colspan="4">廃棄物運搬車両等の走行</td></tr><tr><td colspan="4">温室効果ガスの排出量</td></tr><tr><td>「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.0」（令和7年3月、環境省・経済産業省）に基づき算定</td><td>（地域）運搬車両の走行道路（地点）運搬車両の走行ルート（A）の1地点（図6-6参照）</td><td>供用時</td><td></td></tr><tr><td colspan="4">解体工事中</td></tr><tr><td colspan="4">建設機械等の稼働</td></tr><tr><td colspan="4">温室効果ガスの排出量</td></tr><tr><td>「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.0」（令和7年3月、環境省・経済産業省）に基づき算定</td><td>（地域・地点）対象事業実施区域</td><td>工事期間</td><td></td></tr><tr><td colspan="4">資材等の運搬車両の走行</td></tr><tr><td colspan="4">温室効果ガスの排出量</td></tr><tr><td>「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.0」（令和7年3月、環境省・経済産業省）に基づき算定</td><td>（地域）運搬車両の走行道路（地点）運搬車両の走行ルート（A）（B）の2地点（図6-6参照）</td><td>工事期間</td><td></td></tr></table>	予測項目	予測の基本的な手法	予測地域・地点	予測対象時期等	建設工事中				建設機械等の稼働				温室効果ガスの排出量				「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.0」（令和7年3月、環境省・経済産業省）に基づき算定	（地域・地点）対象事業実施区域	工事期間		資材等の運搬車両の走行				温室効果ガスの排出量				「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.0」（令和7年3月、環境省・経済産業省）に基づき算定	（地域）運搬車両の走行道路（地点）運搬車両の走行ルート（A）（B）の2地点（図6-6参照）	工事期間		供用時				施設の稼働				温室効果ガスの排出量				「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.0」（令和7年3月、環境省・経済産業省）に基づき算定	（地域・地点）対象事業実施区域	供用時		廃棄物運搬車両等の走行				温室効果ガスの排出量				「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.0」（令和7年3月、環境省・経済産業省）に基づき算定	（地域）運搬車両の走行道路（地点）運搬車両の走行ルート（A）の1地点（図6-6参照）	供用時		解体工事中				建設機械等の稼働				温室効果ガスの排出量				「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.0」（令和7年3月、環境省・経済産業省）に基づき算定	（地域・地点）対象事業実施区域	工事期間		資材等の運搬車両の走行				温室効果ガスの排出量				「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.0」（令和7年3月、環境省・経済産業省）に基づき算定	（地域）運搬車両の走行道路（地点）運搬車両の走行ルート（A）（B）の2地点（図6-6参照）	工事期間		表6-51 温室効果ガスの予測の手法 <table><tr><th>予測項目</th><th>予測の基本的な手法</th><th>予測地域・地点</th><th>予測対象時期等</th></tr><tr><td colspan="4">建設工事中</td></tr><tr><td colspan="4">建設機械等の稼働</td></tr><tr><td colspan="4">温室効果ガスの排出量</td></tr><tr><td>「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.1」（令和8年3月、環境省・経済産業省）に基づき算定</td><td>（地域・地点）対象事業実施区域</td><td>工事期間</td><td></td></tr><tr><td colspan="4">資材等の運搬車両の走行</td></tr><tr><td colspan="4">温室効果ガスの排出量</td></tr><tr><td>「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.1」（令和8年3月、環境省・経済産業省）に基づき算定</td><td>（地域）運搬車両の走行道路（地点）運搬車両の走行ルート（A）（B）の2地点（図6-6参照）</td><td>工事期間</td><td></td></tr><tr><td colspan="4">供用時</td></tr><tr><td colspan="4">施設の稼働</td></tr><tr><td colspan="4">温室効果ガスの排出量</td></tr><tr><td>「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.1」（令和8年3月、環境省・経済産業省）に基づき算定</td><td>（地域・地点）対象事業実施区域</td><td>供用時</td><td></td></tr><tr><td colspan="4">廃棄物運搬車両等の走行</td></tr><tr><td colspan="4">温室効果ガスの排出量</td></tr><tr><td>「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.1」（令和8年3月、環境省・経済産業省）に基づき算定</td><td>（地域）運搬車両の走行道路（地点）運搬車両の走行ルート（A）の1地点（図6-6参照）</td><td>供用時</td><td></td></tr><tr><td colspan="4">解体工事中</td></tr><tr><td colspan="4">建設機械等の稼働</td></tr><tr><td colspan="4">温室効果ガスの排出量</td></tr><tr><td>「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.1」（令和8年3月、環境省・経済産業省）に基づき算定</td><td>（地域・地点）対象事業実施区域</td><td>工事期間</td><td></td></tr><tr><td colspan="4">資材等の運搬車両の走行</td></tr><tr><td colspan="4">温室効果ガスの排出量</td></tr><tr><td>「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.1」（令和8年3月、環境省・経済産業省）に基づき算定</td><td>（地域）運搬車両の走行道路（地点）運搬車両の走行ルート（A）（B）の2地点（図6-6参照）</td><td>工事期間</td><td></td></tr></table>	予測項目	予測の基本的な手法	予測地域・地点	予測対象時期等	建設工事中				建設機械等の稼働				温室効果ガスの排出量				「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.1」（令和8年3月、環境省・経済産業省）に基づき算定	（地域・地点）対象事業実施区域	工事期間		資材等の運搬車両の走行				温室効果ガスの排出量				「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.1」（令和8年3月、環境省・経済産業省）に基づき算定	（地域）運搬車両の走行道路（地点）運搬車両の走行ルート（A）（B）の2地点（図6-6参照）	工事期間		供用時				施設の稼働				温室効果ガスの排出量				「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.1」（令和8年3月、環境省・経済産業省）に基づき算定	（地域・地点）対象事業実施区域	供用時		廃棄物運搬車両等の走行				温室効果ガスの排出量				「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.1」（令和8年3月、環境省・経済産業省）に基づき算定	（地域）運搬車両の走行道路（地点）運搬車両の走行ルート（A）の1地点（図6-6参照）	供用時		解体工事中				建設機械等の稼働				温室効果ガスの排出量				「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.1」（令和8年3月、環境省・経済産業省）に基づき算定	（地域・地点）対象事業実施区域	工事期間		資材等の運搬車両の走行				温室効果ガスの排出量				「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.1」（令和8年3月、環境省・経済産業省）に基づき算定	（地域）運搬車両の走行道路（地点）運搬車両の走行ルート（A）（B）の2地点（図6-6参照）	工事期間	
予測項目	予測の基本的な手法	予測地域・地点	予測対象時期等																																																																																																																																																																															
建設工事中																																																																																																																																																																																		
建設機械等の稼働																																																																																																																																																																																		
温室効果ガスの排出量																																																																																																																																																																																		
「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.0」（令和7年3月、環境省・経済産業省）に基づき算定	（地域・地点）対象事業実施区域	工事期間																																																																																																																																																																																
資材等の運搬車両の走行																																																																																																																																																																																		
温室効果ガスの排出量																																																																																																																																																																																		
「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.0」（令和7年3月、環境省・経済産業省）に基づき算定	（地域）運搬車両の走行道路（地点）運搬車両の走行ルート（A）（B）の2地点（図6-6参照）	工事期間																																																																																																																																																																																
供用時																																																																																																																																																																																		
施設の稼働																																																																																																																																																																																		
温室効果ガスの排出量																																																																																																																																																																																		
「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.0」（令和7年3月、環境省・経済産業省）に基づき算定	（地域・地点）対象事業実施区域	供用時																																																																																																																																																																																
廃棄物運搬車両等の走行																																																																																																																																																																																		
温室効果ガスの排出量																																																																																																																																																																																		
「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.0」（令和7年3月、環境省・経済産業省）に基づき算定	（地域）運搬車両の走行道路（地点）運搬車両の走行ルート（A）の1地点（図6-6参照）	供用時																																																																																																																																																																																
解体工事中																																																																																																																																																																																		
建設機械等の稼働																																																																																																																																																																																		
温室効果ガスの排出量																																																																																																																																																																																		
「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.0」（令和7年3月、環境省・経済産業省）に基づき算定	（地域・地点）対象事業実施区域	工事期間																																																																																																																																																																																
資材等の運搬車両の走行																																																																																																																																																																																		
温室効果ガスの排出量																																																																																																																																																																																		
「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.0」（令和7年3月、環境省・経済産業省）に基づき算定	（地域）運搬車両の走行道路（地点）運搬車両の走行ルート（A）（B）の2地点（図6-6参照）	工事期間																																																																																																																																																																																
予測項目	予測の基本的な手法	予測地域・地点	予測対象時期等																																																																																																																																																																															
建設工事中																																																																																																																																																																																		
建設機械等の稼働																																																																																																																																																																																		
温室効果ガスの排出量																																																																																																																																																																																		
「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.1」（令和8年3月、環境省・経済産業省）に基づき算定	（地域・地点）対象事業実施区域	工事期間																																																																																																																																																																																
資材等の運搬車両の走行																																																																																																																																																																																		
温室効果ガスの排出量																																																																																																																																																																																		
「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.1」（令和8年3月、環境省・経済産業省）に基づき算定	（地域）運搬車両の走行道路（地点）運搬車両の走行ルート（A）（B）の2地点（図6-6参照）	工事期間																																																																																																																																																																																
供用時																																																																																																																																																																																		
施設の稼働																																																																																																																																																																																		
温室効果ガスの排出量																																																																																																																																																																																		
「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.1」（令和8年3月、環境省・経済産業省）に基づき算定	（地域・地点）対象事業実施区域	供用時																																																																																																																																																																																
廃棄物運搬車両等の走行																																																																																																																																																																																		
温室効果ガスの排出量																																																																																																																																																																																		
「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.1」（令和8年3月、環境省・経済産業省）に基づき算定	（地域）運搬車両の走行道路（地点）運搬車両の走行ルート（A）の1地点（図6-6参照）	供用時																																																																																																																																																																																
解体工事中																																																																																																																																																																																		
建設機械等の稼働																																																																																																																																																																																		
温室効果ガスの排出量																																																																																																																																																																																		
「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.1」（令和8年3月、環境省・経済産業省）に基づき算定	（地域・地点）対象事業実施区域	工事期間																																																																																																																																																																																
資材等の運搬車両の走行																																																																																																																																																																																		
温室効果ガスの排出量																																																																																																																																																																																		
「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.1」（令和8年3月、環境省・経済産業省）に基づき算定	（地域）運搬車両の走行道路（地点）運搬車両の走行ルート（A）（B）の2地点（図6-6参照）	工事期間																																																																																																																																																																																

箇所	誤	正
6-97ページ ア. 予測の基本的な手法 上から7行目	算定は、最新の「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル (Ver6.0)」に示された方法に準じて行う。	算定は、最新の「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル (Ver6.1)」に示された方法に準じて行う。

以上

【正誤表】

箇所	誤	正																																																																																																																																
1-26ページ d.環境保全目標 表1-25	表1-25 新ごみ処理施設環境保全目標 <table><tr><th colspan="2">項目</th><th>単位</th><th>法規制値・許容基準値</th><th>既存施設の自主基準値</th><th>新施設の自主基準値</th></tr><tr><td rowspan="6">排ガス</td><td>ばいじん</td><td>g/m³N</td><td>0.08 以下</td><td>0.01 以下</td><td>0.01 以下</td></tr><tr><td>塩化水素</td><td>ppm</td><td>約 430 以下</td><td>50 以下</td><td>50 以下</td></tr><tr><td>硫黄酸化物</td><td>ppm (K 値)</td><td>(2.34) (※ 1)</td><td>(2.34) (※ 1)</td><td>50 以下</td></tr><tr><td>窒素酸化物</td><td>ppm</td><td>250 以下</td><td>150 以下</td><td>100 以下</td></tr><tr><td>ダイオキシン類</td><td>n g-TEQ /m³N</td><td>0.1 以下</td><td>0.1 以下</td><td>0.05 以下</td></tr><tr><td>水銀</td><td>μ g/m³N</td><td>30 以下 (※2)</td><td>50 以下</td><td>30 以下</td></tr><tr><td rowspan="3">騒音</td><td>朝・夕</td><td>デシベル</td><td>規制区域外</td><td>55 以下</td><td>55 以下</td></tr><tr><td>昼間</td><td>デシベル</td><td>規制区域外</td><td>65 以下</td><td>65 以下</td></tr><tr><td>夜間</td><td>デシベル</td><td>規制区域外</td><td>50 以下</td><td>50 以下</td></tr><tr><td rowspan="2">振動</td><td>昼間</td><td>デシベル</td><td>規制区域外</td><td>65 以下</td><td>65 以下</td></tr><tr><td>夜間</td><td>デシベル</td><td>規制区域外</td><td>60 以下</td><td>60 以下</td></tr></table>	項目		単位	法規制値・許容基準値	既存施設の自主基準値	新施設の自主基準値	排ガス	ばいじん	g/m³N	0.08 以下	0.01 以下	0.01 以下	塩化水素	ppm	約 430 以下	50 以下	50 以下	硫黄酸化物	ppm (K 値)	(2.34) (※ 1)	(2.34) (※ 1)	50 以下	窒素酸化物	ppm	250 以下	150 以下	100 以下	ダイオキシン類	n g-TEQ /m³N	0.1 以下	0.1 以下	0.05 以下	水銀	μ g/m³N	30 以下 (※2)	50 以下	30 以下	騒音	朝・夕	デシベル	規制区域外	55 以下	55 以下	昼間	デシベル	規制区域外	65 以下	65 以下	夜間	デシベル	規制区域外	50 以下	50 以下	振動	昼間	デシベル	規制区域外	65 以下	65 以下	夜間	デシベル	規制区域外	60 以下	60 以下	表1-25 新ごみ処理施設環境保全目標 <table><tr><th colspan="2">項目</th><th>単位</th><th>法規制値・許容基準値</th><th>既存施設の自主基準値</th><th>新施設の自主基準値</th></tr><tr><td rowspan="6">排ガス</td><td>ばいじん</td><td>g/m³N</td><td>0.08 以下</td><td>0.01 以下</td><td>0.01 以下</td></tr><tr><td>塩化水素</td><td>ppm</td><td>約 430 以下</td><td>50 以下</td><td>50 以下</td></tr><tr><td>硫黄酸化物</td><td>ppm (K 値)</td><td>(2.34) (※ 1)</td><td>(2.34) (※ 1)</td><td>50 以下</td></tr><tr><td>窒素酸化物</td><td>ppm</td><td>250 以下</td><td>150 以下</td><td>100 以下</td></tr><tr><td>ダイオキシン類</td><td>n g-TEQ /m³N</td><td>1 以下</td><td>0.1 以下</td><td>0.05 以下</td></tr><tr><td>水銀</td><td>μ g/m³N</td><td>30 以下 (※2)</td><td>50 以下</td><td>30 以下</td></tr><tr><td rowspan="3">騒音</td><td>朝・夕</td><td>デシベル</td><td>規制区域外</td><td>55 以下</td><td>55 以下</td></tr><tr><td>昼間</td><td>デシベル</td><td>規制区域外</td><td>65 以下</td><td>65 以下</td></tr><tr><td>夜間</td><td>デシベル</td><td>規制区域外</td><td>50 以下</td><td>50 以下</td></tr><tr><td rowspan="2">振動</td><td>昼間</td><td>デシベル</td><td>規制区域外</td><td>65 以下</td><td>65 以下</td></tr><tr><td>夜間</td><td>デシベル</td><td>規制区域外</td><td>60 以下</td><td>60 以下</td></tr></table>	項目		単位	法規制値・許容基準値	既存施設の自主基準値	新施設の自主基準値	排ガス	ばいじん	g/m³N	0.08 以下	0.01 以下	0.01 以下	塩化水素	ppm	約 430 以下	50 以下	50 以下	硫黄酸化物	ppm (K 値)	(2.34) (※ 1)	(2.34) (※ 1)	50 以下	窒素酸化物	ppm	250 以下	150 以下	100 以下	ダイオキシン類	n g-TEQ /m³N	1 以下	0.1 以下	0.05 以下	水銀	μ g/m³N	30 以下 (※2)	50 以下	30 以下	騒音	朝・夕	デシベル	規制区域外	55 以下	55 以下	昼間	デシベル	規制区域外	65 以下	65 以下	夜間	デシベル	規制区域外	50 以下	50 以下	振動	昼間	デシベル	規制区域外	65 以下	65 以下	夜間	デシベル	規制区域外	60 以下	60 以下
項目		単位	法規制値・許容基準値	既存施設の自主基準値	新施設の自主基準値																																																																																																																													
排ガス	ばいじん	g/m³N	0.08 以下	0.01 以下	0.01 以下																																																																																																																													
	塩化水素	ppm	約 430 以下	50 以下	50 以下																																																																																																																													
	硫黄酸化物	ppm (K 値)	(2.34) (※ 1)	(2.34) (※ 1)	50 以下																																																																																																																													
	窒素酸化物	ppm	250 以下	150 以下	100 以下																																																																																																																													
	ダイオキシン類	n g-TEQ /m³N	0.1 以下	0.1 以下	0.05 以下																																																																																																																													
	水銀	μ g/m³N	30 以下 (※2)	50 以下	30 以下																																																																																																																													
騒音	朝・夕	デシベル	規制区域外	55 以下	55 以下																																																																																																																													
	昼間	デシベル	規制区域外	65 以下	65 以下																																																																																																																													
	夜間	デシベル	規制区域外	50 以下	50 以下																																																																																																																													
振動	昼間	デシベル	規制区域外	65 以下	65 以下																																																																																																																													
	夜間	デシベル	規制区域外	60 以下	60 以下																																																																																																																													
項目		単位	法規制値・許容基準値	既存施設の自主基準値	新施設の自主基準値																																																																																																																													
排ガス	ばいじん	g/m³N	0.08 以下	0.01 以下	0.01 以下																																																																																																																													
	塩化水素	ppm	約 430 以下	50 以下	50 以下																																																																																																																													
	硫黄酸化物	ppm (K 値)	(2.34) (※ 1)	(2.34) (※ 1)	50 以下																																																																																																																													
	窒素酸化物	ppm	250 以下	150 以下	100 以下																																																																																																																													
	ダイオキシン類	n g-TEQ /m³N	1 以下	0.1 以下	0.05 以下																																																																																																																													
	水銀	μ g/m³N	30 以下 (※2)	50 以下	30 以下																																																																																																																													
騒音	朝・夕	デシベル	規制区域外	55 以下	55 以下																																																																																																																													
	昼間	デシベル	規制区域外	65 以下	65 以下																																																																																																																													
	夜間	デシベル	規制区域外	50 以下	50 以下																																																																																																																													
振動	昼間	デシベル	規制区域外	65 以下	65 以下																																																																																																																													
	夜間	デシベル	規制区域外	60 以下	60 以下																																																																																																																													
2-2ページ 表2-2	表2-2 高質ごみの各成分から推定した排ガス量 <table><tr><th>項目</th><th>単位</th><th>値</th><th>計算式</th></tr><tr><td>理論空気量L0</td><td>(m³N/kg)</td><td>4.13</td><td>8.89c+26.7(h-o/8)+3.33s</td></tr><tr><td>空気比 λ</td><td>-</td><td>1.3</td><td></td></tr><tr><td>ごみ1kgあたりのガス量(湿) Vw</td><td>(m³N/kg)</td><td>6.18</td><td>1.867c+11.2h+1.244W+0.7s+0.8n+(λ-0.21)L0</td></tr><tr><td>ごみ1kgあたりのガス量(乾) Vd</td><td>(m³N/kg)</td><td>5.21</td><td>1.867c+0.7s+0.8n+(λ-0.21)L0</td></tr><tr><td>ごみ処理量 A</td><td>(kg/h)</td><td>5,125</td><td>124(t/24h)÷24*1000</td></tr><tr><td>排ガス量(湿) 【推定値】</td><td>(m³N/kg)</td><td>31,673</td><td>Vw×A</td></tr><tr><td>排ガス量(乾) 【推定値】</td><td>(m³N/kg)</td><td>26,701</td><td>Vd×A</td></tr></table>	項目	単位	値	計算式	理論空気量L0	(m³N/kg)	4.13	8.89c+26.7(h-o/8)+3.33s	空気比 λ	-	1.3		ごみ1kgあたりのガス量(湿) Vw	(m³N/kg)	6.18	1.867c+11.2h+1.244W+0.7s+0.8n+(λ-0.21)L0	ごみ1kgあたりのガス量(乾) Vd	(m³N/kg)	5.21	1.867c+0.7s+0.8n+(λ-0.21)L0	ごみ処理量 A	(kg/h)	5,125	124(t/24h)÷24*1000	排ガス量(湿) 【推定値】	(m³N/kg)	31,673	Vw×A	排ガス量(乾) 【推定値】	(m³N/kg)	26,701	Vd×A	表2-2 高質ごみの各成分から推定した排ガス量 <table><tr><th>項目</th><th>単位</th><th>値</th><th>計算式</th></tr><tr><td>理論空気量L0</td><td>(m³N/kg)</td><td>4.13</td><td>8.89c+26.7(h-o/8)+3.33s</td></tr><tr><td>空気比 λ</td><td>-</td><td>1.3</td><td></td></tr><tr><td>ごみ1kgあたりのガス量(湿) Vw</td><td>(m³N/kg)</td><td>6.18</td><td>1.867c+11.2h+1.244W+0.7s+0.8n+(λ-0.21)L0</td></tr><tr><td>ごみ1kgあたりのガス量(乾) Vd</td><td>(m³N/kg)</td><td>5.21</td><td>1.867c+0.7s+0.8n+(λ-0.21)L0</td></tr><tr><td>ごみ処理量 A</td><td>(kg/h)</td><td>5,125</td><td>123(t/24h)÷24*1000</td></tr><tr><td>排ガス量(湿) 【推定値】</td><td>(m³N/h)</td><td>31,673</td><td>Vw×A</td></tr><tr><td>排ガス量(乾) 【推定値】</td><td>(m³N/h)</td><td>26,701</td><td>Vd×A</td></tr></table>	項目	単位	値	計算式	理論空気量L0	(m³N/kg)	4.13	8.89c+26.7(h-o/8)+3.33s	空気比 λ	-	1.3		ごみ1kgあたりのガス量(湿) Vw	(m³N/kg)	6.18	1.867c+11.2h+1.244W+0.7s+0.8n+(λ-0.21)L0	ごみ1kgあたりのガス量(乾) Vd	(m³N/kg)	5.21	1.867c+0.7s+0.8n+(λ-0.21)L0	ごみ処理量 A	(kg/h)	5,125	123(t/24h)÷24*1000	排ガス量(湿) 【推定値】	(m³N/h)	31,673	Vw×A	排ガス量(乾) 【推定値】	(m³N/h)	26,701	Vd×A																																																																
項目	単位	値	計算式																																																																																																																															
理論空気量L0	(m³N/kg)	4.13	8.89c+26.7(h-o/8)+3.33s																																																																																																																															
空気比 λ	-	1.3																																																																																																																																
ごみ1kgあたりのガス量(湿) Vw	(m³N/kg)	6.18	1.867c+11.2h+1.244W+0.7s+0.8n+(λ-0.21)L0																																																																																																																															
ごみ1kgあたりのガス量(乾) Vd	(m³N/kg)	5.21	1.867c+0.7s+0.8n+(λ-0.21)L0																																																																																																																															
ごみ処理量 A	(kg/h)	5,125	124(t/24h)÷24*1000																																																																																																																															
排ガス量(湿) 【推定値】	(m³N/kg)	31,673	Vw×A																																																																																																																															
排ガス量(乾) 【推定値】	(m³N/kg)	26,701	Vd×A																																																																																																																															
項目	単位	値	計算式																																																																																																																															
理論空気量L0	(m³N/kg)	4.13	8.89c+26.7(h-o/8)+3.33s																																																																																																																															
空気比 λ	-	1.3																																																																																																																																
ごみ1kgあたりのガス量(湿) Vw	(m³N/kg)	6.18	1.867c+11.2h+1.244W+0.7s+0.8n+(λ-0.21)L0																																																																																																																															
ごみ1kgあたりのガス量(乾) Vd	(m³N/kg)	5.21	1.867c+0.7s+0.8n+(λ-0.21)L0																																																																																																																															
ごみ処理量 A	(kg/h)	5,125	123(t/24h)÷24*1000																																																																																																																															
排ガス量(湿) 【推定値】	(m³N/h)	31,673	Vw×A																																																																																																																															
排ガス量(乾) 【推定値】	(m³N/h)	26,701	Vd×A																																																																																																																															
2-13ページ ア.景観 上から3行目	により確認し、施設が視認可能である主要な地点を抽出した。	により確認し、施設が視認可能と想定される主要な地点を抽出した。																																																																																																																																
2-15ページ イ. 人と自然との触れ合いの活動の場	対象事業実施区域に最も近いのは隣接する洛西浄化センター(図2-24の68番)である。	対象事業実施区域に最も近いのは隣接する洛西浄化センターである。																																																																																																																																

箇所	誤	正																																																																
3-9ページ 表3-7	表3-7 高質ごみの各成分から推定した排ガス量 <table><tr><th>項目</th><th>単位</th><th>値</th><th>計算式</th></tr><tr><td>理論空気量 L0</td><td>m³N/kg</td><td>4.13</td><td>8.89c+26.7(h-o/8)+3.33s</td></tr><tr><td>空気比 λ</td><td>-</td><td>1.3</td><td></td></tr><tr><td>ごみ 1kg あたりのガス量（湿） Vw</td><td>m³N/kg</td><td>6.18</td><td>1.867c+11.2h+1.244W+0.7s+0.8n+(λ-0.21)L0</td></tr><tr><td>ごみ 1kg あたりのガス量（乾） Vd</td><td>m³N/kg</td><td>5.21</td><td>1.867c+0.7s+0.8n+(λ-0.21)L0</td></tr><tr><td>ごみ処理量 A</td><td>kg/h</td><td>5,125</td><td>124(t/24h)÷24×1000</td></tr><tr><td>排ガス量（湿） 【推定値】</td><td>m³N/kg</td><td>31,673</td><td>Vw×A</td></tr><tr><td>排ガス量（乾） 【推定値】</td><td>m³N/kg</td><td>26,701</td><td>Vd×A</td></tr></table>	項目	単位	値	計算式	理論空気量 L0	m³N/kg	4.13	8.89c+26.7(h-o/8)+3.33s	空気比 λ	-	1.3		ごみ 1kg あたりのガス量（湿） Vw	m³N/kg	6.18	1.867c+11.2h+1.244W+0.7s+0.8n+(λ-0.21)L0	ごみ 1kg あたりのガス量（乾） Vd	m³N/kg	5.21	1.867c+0.7s+0.8n+(λ-0.21)L0	ごみ処理量 A	kg/h	5,125	124(t/24h)÷24×1000	排ガス量（湿） 【推定値】	m³N/kg	31,673	Vw×A	排ガス量（乾） 【推定値】	m³N/kg	26,701	Vd×A	表3-7 高質ごみの各成分から推定した排ガス量 <table><tr><th>項目</th><th>単位</th><th>値</th><th>計算式</th></tr><tr><td>理論空気量 L0</td><td>m³N/kg</td><td>4.13</td><td>8.89c+26.7(h-o/8)+3.33s</td></tr><tr><td>空気比 λ</td><td>-</td><td>1.3</td><td></td></tr><tr><td>ごみ 1kg あたりのガス量（湿） Vw</td><td>m³N/kg</td><td>6.18</td><td>1.867c+11.2h+1.244W+0.7s+0.8n+(λ-0.21)L0</td></tr><tr><td>ごみ 1kg あたりのガス量（乾） Vd</td><td>m³N/kg</td><td>5.21</td><td>1.867c+0.7s+0.8n+(λ-0.21)L0</td></tr><tr><td>ごみ処理量 A</td><td>kg/h</td><td>5,125</td><td>123(t/24h)÷24×1000</td></tr><tr><td>排ガス量（湿） 【推定値】</td><td>m³N/h</td><td>31,673</td><td>Vw×A</td></tr><tr><td>排ガス量（乾） 【推定値】</td><td>m³N/h</td><td>26,701</td><td>Vd×A</td></tr></table>	項目	単位	値	計算式	理論空気量 L0	m³N/kg	4.13	8.89c+26.7(h-o/8)+3.33s	空気比 λ	-	1.3		ごみ 1kg あたりのガス量（湿） Vw	m³N/kg	6.18	1.867c+11.2h+1.244W+0.7s+0.8n+(λ-0.21)L0	ごみ 1kg あたりのガス量（乾） Vd	m³N/kg	5.21	1.867c+0.7s+0.8n+(λ-0.21)L0	ごみ処理量 A	kg/h	5,125	123(t/24h)÷24×1000	排ガス量（湿） 【推定値】	m³N/h	31,673	Vw×A	排ガス量（乾） 【推定値】	m³N/h	26,701	Vd×A
項目	単位	値	計算式																																																															
理論空気量 L0	m³N/kg	4.13	8.89c+26.7(h-o/8)+3.33s																																																															
空気比 λ	-	1.3																																																																
ごみ 1kg あたりのガス量（湿） Vw	m³N/kg	6.18	1.867c+11.2h+1.244W+0.7s+0.8n+(λ-0.21)L0																																																															
ごみ 1kg あたりのガス量（乾） Vd	m³N/kg	5.21	1.867c+0.7s+0.8n+(λ-0.21)L0																																																															
ごみ処理量 A	kg/h	5,125	124(t/24h)÷24×1000																																																															
排ガス量（湿） 【推定値】	m³N/kg	31,673	Vw×A																																																															
排ガス量（乾） 【推定値】	m³N/kg	26,701	Vd×A																																																															
項目	単位	値	計算式																																																															
理論空気量 L0	m³N/kg	4.13	8.89c+26.7(h-o/8)+3.33s																																																															
空気比 λ	-	1.3																																																																
ごみ 1kg あたりのガス量（湿） Vw	m³N/kg	6.18	1.867c+11.2h+1.244W+0.7s+0.8n+(λ-0.21)L0																																																															
ごみ 1kg あたりのガス量（乾） Vd	m³N/kg	5.21	1.867c+0.7s+0.8n+(λ-0.21)L0																																																															
ごみ処理量 A	kg/h	5,125	123(t/24h)÷24×1000																																																															
排ガス量（湿） 【推定値】	m³N/h	31,673	Vw×A																																																															
排ガス量（乾） 【推定値】	m³N/h	26,701	Vd×A																																																															
3-10ページ 表3-9	表3-9 バックグラウンド濃度 <table><tr><th>項目</th><th>バックグラウンド濃度</th><th>備考</th></tr><tr><td>二酸化硫黄</td><td>0.001ppm</td><td>久御山測定局R3～R5の年平均値の平均</td></tr><tr><td>二酸化窒素</td><td>0.01ppm</td><td>大山崎測定局R3～R5の年平均値の平均</td></tr><tr><td>浮遊粒子状物質</td><td>0.015mg/m³</td><td>大山崎測定局R3～R5の年平均値の平均</td></tr><tr><td>ダイオキシン類</td><td>0.015pg-TEQ/m³</td><td>久御山測定局でのR3～R5の年平均値（1回/年）</td></tr><tr><td>水銀</td><td>1.63μg/m³</td><td>久御山測定局でのR3～R5の年平均値（1回/年）</td></tr></table>	項目	バックグラウンド濃度	備考	二酸化硫黄	0.001ppm	久御山測定局R3～R5の年平均値の平均	二酸化窒素	0.01ppm	大山崎測定局R3～R5の年平均値の平均	浮遊粒子状物質	0.015mg/m³	大山崎測定局R3～R5の年平均値の平均	ダイオキシン類	0.015pg-TEQ/m³	久御山測定局でのR3～R5の年平均値（1回/年）	水銀	1.63μg/m³	久御山測定局でのR3～R5の年平均値（1回/年）	表3-9 バックグラウンド濃度 <table><tr><th>項目</th><th>バックグラウンド濃度</th><th>備考</th></tr><tr><td>二酸化硫黄</td><td>0.001ppm</td><td>久御山測定局 R3～R5 の年平均値の平均</td></tr><tr><td>二酸化窒素</td><td>0.01ppm</td><td>大山崎測定局 R3～R5 の年平均値の平均</td></tr><tr><td>浮遊粒子状物質</td><td>0.015mg/m³</td><td>大山崎測定局 R3～R5 の年平均値の平均</td></tr><tr><td>ダイオキシン類</td><td>0.015pg-TEQ/m³</td><td>久御山測定局での R3～R5 の年平均値（1回/年）</td></tr><tr><td>水銀</td><td>1.63ng/m³</td><td>久御山測定局での R3～R5 の年平均値（1回/年）</td></tr></table>	項目	バックグラウンド濃度	備考	二酸化硫黄	0.001ppm	久御山測定局 R3～R5 の年平均値の平均	二酸化窒素	0.01ppm	大山崎測定局 R3～R5 の年平均値の平均	浮遊粒子状物質	0.015mg/m³	大山崎測定局 R3～R5 の年平均値の平均	ダイオキシン類	0.015pg-TEQ/m³	久御山測定局での R3～R5 の年平均値（1回/年）	水銀	1.63ng/m³	久御山測定局での R3～R5 の年平均値（1回/年）																												
項目	バックグラウンド濃度	備考																																																																
二酸化硫黄	0.001ppm	久御山測定局R3～R5の年平均値の平均																																																																
二酸化窒素	0.01ppm	大山崎測定局R3～R5の年平均値の平均																																																																
浮遊粒子状物質	0.015mg/m³	大山崎測定局R3～R5の年平均値の平均																																																																
ダイオキシン類	0.015pg-TEQ/m³	久御山測定局でのR3～R5の年平均値（1回/年）																																																																
水銀	1.63μg/m³	久御山測定局でのR3～R5の年平均値（1回/年）																																																																
項目	バックグラウンド濃度	備考																																																																
二酸化硫黄	0.001ppm	久御山測定局 R3～R5 の年平均値の平均																																																																
二酸化窒素	0.01ppm	大山崎測定局 R3～R5 の年平均値の平均																																																																
浮遊粒子状物質	0.015mg/m³	大山崎測定局 R3～R5 の年平均値の平均																																																																
ダイオキシン類	0.015pg-TEQ/m³	久御山測定局での R3～R5 の年平均値（1回/年）																																																																
水銀	1.63ng/m³	久御山測定局での R3～R5 の年平均値（1回/年）																																																																
4-6ページ 表4-2	表4-2 知事意見及び事業者(本組合)の見解 <table><tr><th>知事の見解</th><th>事業者（本組合）の見解</th></tr><tr><td>（５）温室効果ガス等</td><td></td></tr><tr><td>排出量低減の検討は、関連する温室効果ガス削減計画も踏まえるとともに、関係車両の走行や廃棄物焼却等の排出要因ごとに切り分けて排出量を算定した上で、できる限り具体的に行うこと。</td><td>温室効果ガスについては、建設工事中、供用時、解体工事中に区分して、運搬車両、建設機械、廃棄物焼却、排ガス処理、ごみ焼却灰処理、電力使用等、システム境界を明確にしたうえで、最新の「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル(Ver6.0)」(令和7年3月)に示された方法に準じて各排出量を算定します。また、2050年カーボンニュートラルの実現へ向けた環境保全措置については、熱回収及び廃棄物発電等の検討を進め、準備書において具体的な排出量低減策について検討します。</td></tr></table>	知事の見解	事業者（本組合）の見解	（５）温室効果ガス等		排出量低減の検討は、関連する温室効果ガス削減計画も踏まえるとともに、関係車両の走行や廃棄物焼却等の排出要因ごとに切り分けて排出量を算定した上で、できる限り具体的に行うこと。	温室効果ガスについては、建設工事中、供用時、解体工事中に区分して、運搬車両、建設機械、廃棄物焼却、排ガス処理、ごみ焼却灰処理、電力使用等、システム境界を明確にしたうえで、最新の「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル(Ver6.0)」(令和7年3月)に示された方法に準じて各排出量を算定します。また、2050年カーボンニュートラルの実現へ向けた環境保全措置については、熱回収及び廃棄物発電等の検討を進め、準備書において具体的な排出量低減策について検討します。	表4-2 知事意見及び事業者(本組合)の見解 <table><tr><th>知事の見解</th><th>事業者（本組合）の見解</th></tr><tr><td>（５）温室効果ガス等</td><td></td></tr><tr><td>排出量低減の検討は、関連する温室効果ガス削減計画も踏まえるとともに、関係車両の走行や廃棄物焼却等の排出要因ごとに切り分けて排出量を算定した上で、できる限り具体的に行うこと。</td><td>温室効果ガスについては、建設工事中、供用時、解体工事中に区分して、運搬車両、建設機械、廃棄物焼却、排ガス処理、ごみ焼却灰処理、電力使用等、システム境界を明確にしたうえで、最新の「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル(Ver6.1)」(令和8年3月)に示された方法に準じて各排出量を算定します。また、2050年カーボンニュートラルの実現へ向けた環境保全措置については、熱回収及び廃棄物発電等の検討を進め、準備書において具体的な排出量低減策について検討します。</td></tr></table>	知事の見解	事業者（本組合）の見解	（５）温室効果ガス等		排出量低減の検討は、関連する温室効果ガス削減計画も踏まえるとともに、関係車両の走行や廃棄物焼却等の排出要因ごとに切り分けて排出量を算定した上で、できる限り具体的に行うこと。	温室効果ガスについては、建設工事中、供用時、解体工事中に区分して、運搬車両、建設機械、廃棄物焼却、排ガス処理、ごみ焼却灰処理、電力使用等、システム境界を明確にしたうえで、最新の「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル(Ver6.1)」(令和8年3月)に示された方法に準じて各排出量を算定します。また、2050年カーボンニュートラルの実現へ向けた環境保全措置については、熱回収及び廃棄物発電等の検討を進め、準備書において具体的な排出量低減策について検討します。																																																				
知事の見解	事業者（本組合）の見解																																																																	
（５）温室効果ガス等																																																																		
排出量低減の検討は、関連する温室効果ガス削減計画も踏まえるとともに、関係車両の走行や廃棄物焼却等の排出要因ごとに切り分けて排出量を算定した上で、できる限り具体的に行うこと。	温室効果ガスについては、建設工事中、供用時、解体工事中に区分して、運搬車両、建設機械、廃棄物焼却、排ガス処理、ごみ焼却灰処理、電力使用等、システム境界を明確にしたうえで、最新の「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル(Ver6.0)」(令和7年3月)に示された方法に準じて各排出量を算定します。また、2050年カーボンニュートラルの実現へ向けた環境保全措置については、熱回収及び廃棄物発電等の検討を進め、準備書において具体的な排出量低減策について検討します。																																																																	
知事の見解	事業者（本組合）の見解																																																																	
（５）温室効果ガス等																																																																		
排出量低減の検討は、関連する温室効果ガス削減計画も踏まえるとともに、関係車両の走行や廃棄物焼却等の排出要因ごとに切り分けて排出量を算定した上で、できる限り具体的に行うこと。	温室効果ガスについては、建設工事中、供用時、解体工事中に区分して、運搬車両、建設機械、廃棄物焼却、排ガス処理、ごみ焼却灰処理、電力使用等、システム境界を明確にしたうえで、最新の「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル(Ver6.1)」(令和8年3月)に示された方法に準じて各排出量を算定します。また、2050年カーボンニュートラルの実現へ向けた環境保全措置については、熱回収及び廃棄物発電等の検討を進め、準備書において具体的な排出量低減策について検討します。																																																																	

箇所

4-7ページ

表4-3

誤

表4-3 京都市長意見及び事業者(本組合)の見解

(3) 温室効果ガス

温室効果ガスについて、工事中及び施設供用時の運行車両・建設機械、廃棄物焼却、排ガス処理、ごみ焼却灰処理等、システム境界を明確にしたうえで各々の排出量を算定するとともに、2050 年カーボンニュートラルの実現に向けて、熱回収や廃棄物発電等の環境保全措置についても検討すること。

温室効果ガスについては、建設工事中、供用時、解体工事中に区分して、運搬車両、建設機械、廃棄物焼却、排ガス処理、ごみ焼却灰処理、電力使用等、システム境界を明確にしたうえで、最新の「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル(Ver6.0)」(令和7年3月)に示された方法に準じて各排出量を算定します。また、2050 年カーボンニュートラルの実現へ向けた環境保全措置については、熱回収及び廃棄物発電等の検討を進め、準備書において具体的な排出量低減策について検討します。

正

表4-3 京都市長意見及び事業者(本組合)の見解

(3) 温室効果ガス

温室効果ガスについて、工事中及び施設供用時の運行車両・建設機械、廃棄物焼却、排ガス処理、ごみ焼却灰処理等、システム境界を明確にしたうえで各々の排出量を算定するとともに、2050 年カーボンニュートラルの実現に向けて、熱回収や廃棄物発電等の環境保全措置についても検討すること。

温室効果ガスについては、建設工事中、供用時、解体工事中に区分して、運搬車両、建設機械、廃棄物焼却、排ガス処理、ごみ焼却灰処理、電力使用等、システム境界を明確にしたうえで、最新の「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル(Ver6.1)」(令和8年3月)に示された方法に準じて各排出量を算定します。また、2050 年カーボンニュートラルの実現へ向けた環境保全措置については、熱回収及び廃棄物発電等の検討を進め、準備書において具体的な排出量低減策について検討します。

6-2ページ

(1)調査の手法

表6-1

表6-1 大気質調査の手法(大気質)

調査項目	調査手法	調査対象地域・地点	調査期間等
現地調査			
一般環境大気質			
二酸化硫黄	ステーション設置による自動連続測定 ・溶液導電率法又は紫外線蛍光法 (測定高さ：地上1.5m)	(地域) 調査地域 (地点) 対象事業実施区域1地点、対象事業実施区域周辺(東西南北、北東)5地点 (図6-1 参照)	各季1 週間(7 日間)(※) (1 時間値測定) (1 地点につき1 検体/7 日間)
浮遊粒子状物質	ステーション設置による自動連続測定 ・ベータ線吸収法 (測定高さ：地上3m)		
二酸化窒素	ステーション設置による自動連続測定 ・ザルツマン試薬を用いる吸光度法又はオゾンを用いる化学発光法 (測定高さ：地上1.5m)		
微小粒子状物質	ステーション設置による自動連続測定 ・濾過捕集による質量濃度測定方法又はこの方法によって測定された質量濃度と等価な値が得られると認められる自動測定機による方法 (測定高さ：地上3m)		
ダイオキシン類	サンプリング分析(簡易測定) ・ハイボリウム・エアサンプラー捕集、高分解能ガスクロマトグラフ質量分析計による方法 (測定高さ：地上3m)		各季1 週間(7 日間)(※) (1 地点につき1 検体/7 日間)
塩化水素	サンプリング分析(簡易測定) ・イオンクロマトグラフ法 (測定高さ：地上1.5m)		各季1 週間(7 日間)(※) (1 地点につき1 検体/1 日)
水銀	サンプリング分析(簡易測定) ・金アマルガム捕集-加熱気化、非分散冷原子吸光法 (測定高さ：地上1.5m)		
降下ばいじん	サンプリング分析 ・ダストジャーによる捕集法、重量法 (測定高さ：地上2～5m)	(地域) 調査地域 (地点) 対象事業実施区域1 地点 (図6-1 参照)	各季1 ヶ月(30 日間)(※) (1 地点につき1 検体/月)

表6-1 大気質調査の手法(大気質)

調査項目	調査手法	調査対象地域・地点	調査期間等
現地調査			
一般環境大気質			
二酸化硫黄	ステーション設置による自動連続測定 ・溶液導電率法又は紫外線蛍光法 (測定高さ：地上1.5m)	(地域) 調査地域 (地点) 対象事業実施区域1地点、対象事業実施区域周辺(東西南北、北東)5地点 (図6-1 参照)	各季1 週間(7 日間)(※) (1 時間値測定)
浮遊粒子状物質	ステーション設置による自動連続測定 ・ベータ線吸収法 (測定高さ：地上3m)		
二酸化窒素	ステーション設置による自動連続測定 ・ザルツマン試薬を用いる吸光度法又はオゾンを用いる化学発光法 (測定高さ：地上1.5m)		
微小粒子状物質	サンプリング分析(簡易測定) ・濾過捕集による質量濃度測定方法(測定高さ：地上3m)		各季1 週間(7 日間)(※) (1 地点につき1 検体/日)
ダイオキシン類	サンプリング分析(簡易測定) ・ハイボリウム・エアサンプラー捕集、高分解能ガスクロマトグラフ質量分析計による方法 (測定高さ：地上3m)		各季1 週間(7 日間)(※) (1 地点につき1 検体/7 日間)
塩化水素	サンプリング分析(簡易測定) ・イオンクロマトグラフ法 (測定高さ：地上1.5m)		各季1 週間(7 日間)(※) (1 地点につき1 検体/日)
水銀	サンプリング分析(簡易測定) ・金アマルガム捕集-加熱気化、非分散冷原子吸光法 (測定高さ：地上1.5m)		
降下ばいじん	サンプリング分析 ・ダストジャーによる捕集法、重量法 (測定高さ：地上2～5m)	(地域) 調査地域 (地点) 対象事業実施区域1 地点 (図6-1 参照)	各季1 ヶ月(30 日間)(※) (1 地点につき1 検体/月)

箇所

6-3ページ
6-1-1大気質
表6-1
現地調査
沿道大気質
調査期間等

誤

調査項目	調査手法	調査対象地域・地点	調査期間等
沿道大気質			
浮遊粒子状物質	ステーション設置による自動連続測定 ・ベータ線吸収法 (測定高さ：地上3m)	(地域) 運搬車両の走行道路沿道 (地点) 運搬車両の走行ルート (A) (B) の2地点 (図 6-2 参照)	各季 1 週間 (7 日間) (※) (1 時間値測定) (1 地点につき 1 検体/日)
二酸化窒素	ステーション設置による自動連続測定 ・ザルツマン試薬を用いる吸光光度法又はオゾンを用いる化学発光法 (測定高さ：地上1.5m)		
微小粒子状物質	ステーション設置による自動連続測定 ・濾過捕集による質量濃度測定方法又はこの方法によって測定された質量濃度と等価な値が得られると認められる自動測定機による方法 (測定高さ：地上3m)		
粉じん	サンプリング分析 ・ダストジャーによる捕集法、重量法 (測定高さ：地上2～5m)		各季 1 ヶ月 (30 日間) (※) (1 地点につき 1 検体/月)

正

調査項目	調査手法	調査対象地域・地点	調査期間等
沿道大気質			
浮遊粒子状物質	ステーション設置による自動連続測定 ・ベータ線吸収法 (測定高さ：地上3m)	(地域) 運搬車両の走行道路沿道 (地点) 運搬車両の走行ルート (A) (B) の2地点 (図 6-2 参照)	各季 1 週間 (7 日間) (※) (1 時間値測定)
二酸化窒素	ステーション設置による自動連続測定 ・ザルツマン試薬を用いる吸光光度法又はオゾンを用いる化学発光法 (測定高さ：地上1.5m)		
微小粒子状物質	サンプリング分析 (簡易分析) ・濾過捕集による質量濃度測定方法 (測定高さ：地上3m)		
粉じん	サンプリング分析 ・ダストジャーによる捕集法、重量法 (測定高さ：地上2～5m)		各季 1 ヶ月 (30 日間) (※) (1 地点につき 1 検体/月)

箇所

6-7ページ
(2)予測の手法 表6-4

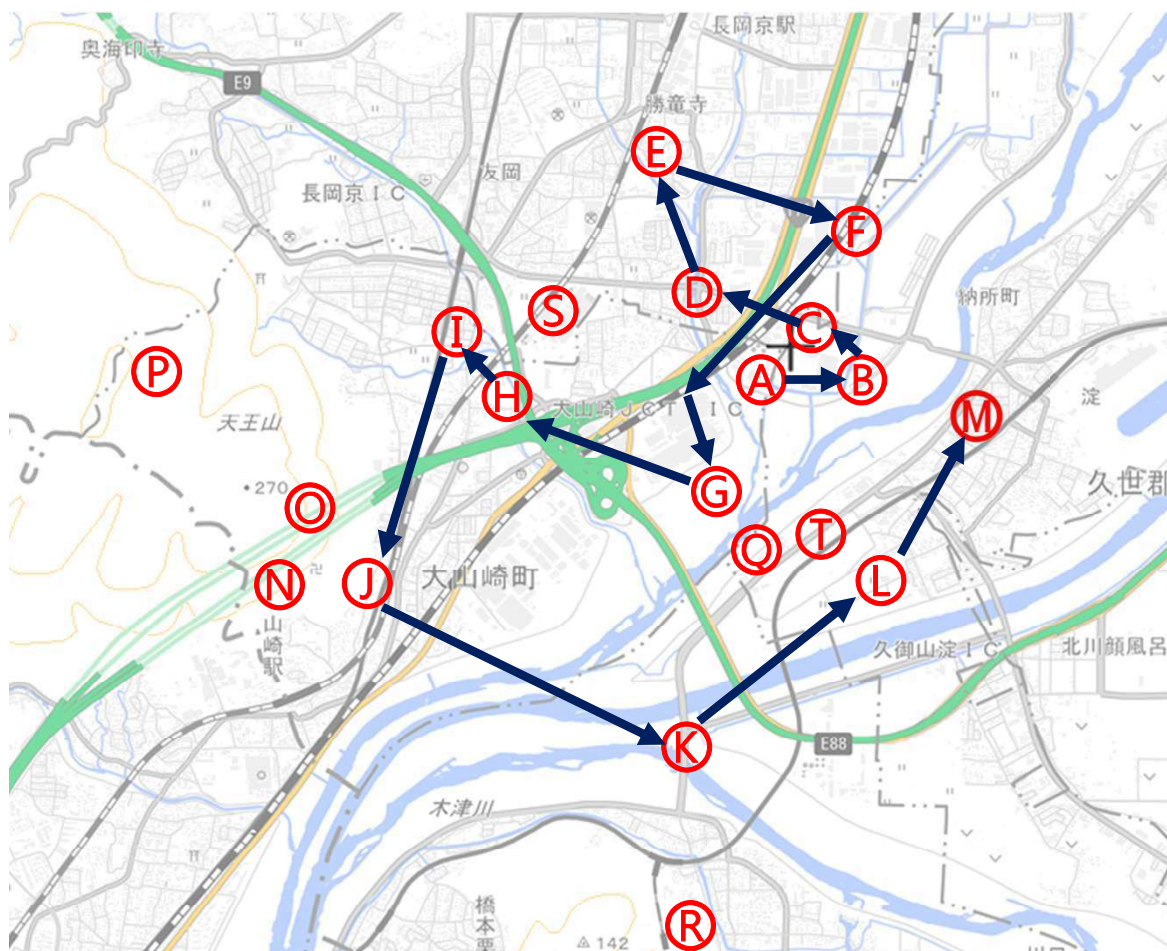
誤

予測項目	予測の基本的な手法	予測地域・地点	予測対象時期等
供用時			
施設の稼働（煙突排出ガス）			
二酸化硫黄、浮遊粒子状物質、二酸化窒素、微小粒子状物質濃度の年平均値及び1時間値			
	〔年平均値〕 「窒素酸化物総量規制マニュアル（新版）」（平成12年、公害研究対策センター）に示されたブルーム・パフモデルを基本とした大気拡散モデルにより計算（参考として、地形影響を考慮した3次元移流拡散モデルによる濃度予測も実施） 〔1時間値〕 「窒素酸化物総量規制マニュアル（新版）」及び「ごみ焼却施設環境アセスメントマニュアル」（昭和61年、厚生省生活衛生局監修）に示されたブルーム・パフモデルを基本とした大気拡散モデルにより計算（一般的な気象条件時、上層逆転層出現時、ダウンウォッシュ時、接地逆転層崩壊時を基本）	（地域）調査地域 （地点）事業実施に伴う影響範囲	事業活動が定常状態となる時期
降下ばいじんの月平均値			
	〔月平均値〕 類似施設の調査結果を参考に、新施設の稼働による負荷、環境保全対策などを踏まえた定性的な予測	（地域）調査地域 （地点）事業実施に伴う影響範囲	事業活動が定常状態となる時期
ダイオキシン類及び水銀濃度の年平均値			
	〔年平均値〕 「窒素酸化物総量規制マニュアル（新版）」（平成12年、公害研究対策センター）に示されたブルーム・パフモデルを基本とした大気拡散モデルにより計算（参考として、地形影響を考慮した3次元移流拡散モデルによる濃度予測も実施）	（地域）調査地域 （地点）事業実施に伴う影響範囲	事業活動が定常状態となる時期
塩化水素濃度の1時間値			
	「窒素酸化物総量規制マニュアル（新版）」（平成12年、公害研究対策センター）及び「ごみ焼却施設環境アセスメントマニュアル」（昭和61年、厚生省生活衛生局監修）に示されたブルーム・パフモデルを基本とした大気拡散モデルにより計算（一般的な気象条件時、上層逆転層出現時、ダウンウォッシュ時、接地逆転層崩壊時を基本）	（地域）調査地域 （地点）事業実施に伴う影響範囲	事業活動が定常状態となる時期
施設の稼働（粗大ごみ処理設備等）			
粉じん			
	同種・同規模の破砕処理設備における事後調査結果及び排出実態を踏まえた定性的な予測	（地域）対象事業実施区域周辺 （地点）対象事業実施区域周辺（敷地境界周辺）	事業活動が定常状態となる時期

正

予測項目	予測の基本的な手法	予測地域・地点	予測対象時期等
供用時			
施設の稼働（煙突排出ガス）			
二酸化硫黄、浮遊粒子状物質、二酸化窒素濃度の年平均値及び1時間値			
	〔年平均値〕 「窒素酸化物総量規制マニュアル（新版）」（平成12年、公害研究対策センター）に示されたブルーム・パフモデルを基本とした大気拡散モデルにより計算（参考として、地形影響を考慮した3次元移流拡散モデルによる濃度予測も実施） 〔1時間値〕 「窒素酸化物総量規制マニュアル（新版）」及び「ごみ焼却施設環境アセスメントマニュアル」（昭和61年、厚生省生活衛生局監修）に示されたブルーム・パフモデルを基本とした大気拡散モデルにより計算（一般的な気象条件時、上層逆転層出現時、ダウンウォッシュ時、接地逆転層崩壊時を基本）	（地域）調査地域 （地点）事業実施に伴う影響範囲	事業活動が定常状態となる時期
降下ばいじんの月平均値			
	〔月平均値〕 類似施設の調査結果を参考に、新施設の稼働による負荷、環境保全対策などを踏まえた定性的な予測	（地域）調査地域 （地点）事業実施に伴う影響範囲	事業活動が定常状態となる時期
ダイオキシン類、水銀及び微小粒子状物質濃度の年平均値			
	〔年平均値〕 「窒素酸化物総量規制マニュアル（新版）」（平成12年、公害研究対策センター）に示されたブルーム・パフモデルを基本とした大気拡散モデルにより計算（参考として、地形影響を考慮した3次元移流拡散モデルによる濃度予測も実施）	（地域）調査地域 （地点）事業実施に伴う影響範囲	事業活動が定常状態となる時期
塩化水素濃度の1時間値			
	「窒素酸化物総量規制マニュアル（新版）」（平成12年、公害研究対策センター）及び「ごみ焼却施設環境アセスメントマニュアル」（昭和61年、厚生省生活衛生局監修）に示されたブルーム・パフモデルを基本とした大気拡散モデルにより計算（一般的な気象条件時、上層逆転層出現時、ダウンウォッシュ時、接地逆転層崩壊時を基本）	（地域）調査地域 （地点）事業実施に伴う影響範囲	事業活動が定常状態となる時期
施設の稼働（粗大ごみ処理設備等）			
粉じん			
	同種・同規模の破砕処理設備における事後調査結果及び排出実態を踏まえた定性的な予測	（地域）対象事業実施区域周辺 （地点）対象事業実施区域周辺（敷地境界周辺）	事業活動が定常状態となる時期

箇所	誤	正																																																																																																																																								
6-18ページ 6-2-3振動 表6-8 供用時 予測地域・地点	<table><tr><th colspan="4">供用時</th></tr><tr><th colspan="4">施設の稼働</th></tr><tr><td colspan="2">工場・事業場振動（振動レベル80%レンジ上端値）</td><td></td><td></td></tr><tr><td>「廃棄物処理施設生活環境影響調査指針（平成18年9月 環境省）」に示された振動の伝搬計算式により数値計算</td><td>（地域）対象事業実施区域周辺 （地点）対象事業実施区域（敷地境界） （振動レベルが最大となる地点）</td><td>事業活動が定常状態となる時期</td><td></td></tr><tr><th colspan="4">廃棄物運搬車両等の走行</th></tr><tr><th colspan="4">道路交通振動（振動レベル80%レンジ上端値）</th></tr><tr><td>「道路環境影響評価の技術手法（平成24年度版土木研究所資料集4254号）」に示された振動の伝搬計算式により数値計算</td><td>（地域）運搬車両の走行道路沿道 （地点）運搬車両の走行ルート（A） （B）の2地点（図6-5参照）</td><td>供用時による環境影響が最大となる時期</td><td></td></tr></table>	供用時				施設の稼働				工場・事業場振動（振動レベル80%レンジ上端値）				「廃棄物処理施設生活環境影響調査指針（平成18年9月 環境省）」に示された振動の伝搬計算式により数値計算	（地域）対象事業実施区域周辺 （地点）対象事業実施区域（敷地境界） （振動レベルが最大となる地点）	事業活動が定常状態となる時期		廃棄物運搬車両等の走行				道路交通振動（振動レベル80%レンジ上端値）				「道路環境影響評価の技術手法（平成24年度版土木研究所資料集4254号）」に示された振動の伝搬計算式により数値計算	（地域）運搬車両の走行道路沿道 （地点）運搬車両の走行ルート（A） （B）の2地点（図6-5参照）	供用時による環境影響が最大となる時期		<table><tr><th colspan="4">供用時</th></tr><tr><th colspan="4">施設の稼働</th></tr><tr><td colspan="2">工場・事業場振動（振動レベル80%レンジ上端値）</td><td></td><td></td></tr><tr><td>「廃棄物処理施設生活環境影響調査指針（平成18年9月 環境省）」に示された振動の伝搬計算式により数値計算</td><td>（地域）対象事業実施区域周辺 （地点）対象事業実施区域（敷地境界） （振動レベルが最大となる地点）</td><td>事業活動が定常状態となる時期</td><td></td></tr><tr><th colspan="4">廃棄物運搬車両等の走行</th></tr><tr><th colspan="4">道路交通振動（振動レベル80%レンジ上端値）</th></tr><tr><td>「道路環境影響評価の技術手法（平成24年度版土木研究所資料集4254号）」に示された振動の伝搬計算式により数値計算</td><td>（地域）運搬車両の走行道路沿道 （地点）運搬車両の走行ルート（A）の1地点（図6-5参照）</td><td>供用時による環境影響が最大となる時期</td><td></td></tr></table>	供用時				施設の稼働				工場・事業場振動（振動レベル80%レンジ上端値）				「廃棄物処理施設生活環境影響調査指針（平成18年9月 環境省）」に示された振動の伝搬計算式により数値計算	（地域）対象事業実施区域周辺 （地点）対象事業実施区域（敷地境界） （振動レベルが最大となる地点）	事業活動が定常状態となる時期		廃棄物運搬車両等の走行				道路交通振動（振動レベル80%レンジ上端値）				「道路環境影響評価の技術手法（平成24年度版土木研究所資料集4254号）」に示された振動の伝搬計算式により数値計算	（地域）運搬車両の走行道路沿道 （地点）運搬車両の走行ルート（A）の1地点（図6-5参照）	供用時による環境影響が最大となる時期																																																																																	
供用時																																																																																																																																										
施設の稼働																																																																																																																																										
工場・事業場振動（振動レベル80%レンジ上端値）																																																																																																																																										
「廃棄物処理施設生活環境影響調査指針（平成18年9月 環境省）」に示された振動の伝搬計算式により数値計算	（地域）対象事業実施区域周辺 （地点）対象事業実施区域（敷地境界） （振動レベルが最大となる地点）	事業活動が定常状態となる時期																																																																																																																																								
廃棄物運搬車両等の走行																																																																																																																																										
道路交通振動（振動レベル80%レンジ上端値）																																																																																																																																										
「道路環境影響評価の技術手法（平成24年度版土木研究所資料集4254号）」に示された振動の伝搬計算式により数値計算	（地域）運搬車両の走行道路沿道 （地点）運搬車両の走行ルート（A） （B）の2地点（図6-5参照）	供用時による環境影響が最大となる時期																																																																																																																																								
供用時																																																																																																																																										
施設の稼働																																																																																																																																										
工場・事業場振動（振動レベル80%レンジ上端値）																																																																																																																																										
「廃棄物処理施設生活環境影響調査指針（平成18年9月 環境省）」に示された振動の伝搬計算式により数値計算	（地域）対象事業実施区域周辺 （地点）対象事業実施区域（敷地境界） （振動レベルが最大となる地点）	事業活動が定常状態となる時期																																																																																																																																								
廃棄物運搬車両等の走行																																																																																																																																										
道路交通振動（振動レベル80%レンジ上端値）																																																																																																																																										
「道路環境影響評価の技術手法（平成24年度版土木研究所資料集4254号）」に示された振動の伝搬計算式により数値計算	（地域）運搬車両の走行道路沿道 （地点）運搬車両の走行ルート（A）の1地点（図6-5参照）	供用時による環境影響が最大となる時期																																																																																																																																								
6-62ページ 表6-40	<table><tr><th colspan="4">表6-40 温室効果ガスの予測の手法</th></tr><tr><th>予測項目</th><th>予測の基本的な手法</th><th>予測地域・地点</th><th>予測対象時期等</th></tr><tr><th colspan="4">建設工事中</th></tr><tr><th colspan="4">建設機械等の稼働</th></tr><tr><td>温室効果ガスの排出量</td><td>「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.0」（令和7年3月、環境省・経済産業省）に基づき算定</td><td>（地域・地点）対象事業実施区域</td><td>工事期間</td></tr><tr><th colspan="4">資材等の運搬車両の走行</th></tr><tr><td>温室効果ガスの排出量</td><td>「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.0」（令和7年3月、環境省・経済産業省）に基づき算定</td><td>（地域）運搬車両の走行道路 （地点）運搬車両の走行ルート（A） （B）の2地点（図6-6参照）</td><td>工事期間</td></tr><tr><th colspan="4">供用時</th></tr><tr><th colspan="4">施設の稼働</th></tr><tr><td>温室効果ガスの排出量</td><td>「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.0」（令和7年3月、環境省・経済産業省）に基づき算定</td><td>（地域・地点）対象事業実施区域</td><td>供用時</td></tr><tr><th colspan="4">廃棄物運搬車両等の走行</th></tr><tr><td>温室効果ガスの排出量</td><td>「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.0」（令和7年3月、環境省・経済産業省）に基づき算定</td><td>（地域）運搬車両の走行道路 （地点）運搬車両の走行ルート（A）の1地点（図6-6参照）</td><td>供用時</td></tr><tr><th colspan="4">解体工事中</th></tr><tr><th colspan="4">建設機械等の稼働</th></tr><tr><td>温室効果ガスの排出量</td><td>「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.0」（令和7年3月、環境省・経済産業省）に基づき算定</td><td>（地域・地点）対象事業実施区域</td><td>工事期間</td></tr><tr><th colspan="4">資材等の運搬車両の走行</th></tr><tr><td>温室効果ガスの排出量</td><td>「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.0」（令和7年3月、環境省・経済産業省）に基づき算定</td><td>（地域）運搬車両の走行道路 （地点）運搬車両の走行ルート（A） （B）の2地点（図6-6参照）</td><td>工事期間</td></tr></table>	表6-40 温室効果ガスの予測の手法				予測項目	予測の基本的な手法	予測地域・地点	予測対象時期等	建設工事中				建設機械等の稼働				温室効果ガスの排出量	「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.0」（令和7年3月、環境省・経済産業省）に基づき算定	（地域・地点）対象事業実施区域	工事期間	資材等の運搬車両の走行				温室効果ガスの排出量	「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.0」（令和7年3月、環境省・経済産業省）に基づき算定	（地域）運搬車両の走行道路 （地点）運搬車両の走行ルート（A） （B）の2地点（図6-6参照）	工事期間	供用時				施設の稼働				温室効果ガスの排出量	「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.0」（令和7年3月、環境省・経済産業省）に基づき算定	（地域・地点）対象事業実施区域	供用時	廃棄物運搬車両等の走行				温室効果ガスの排出量	「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.0」（令和7年3月、環境省・経済産業省）に基づき算定	（地域）運搬車両の走行道路 （地点）運搬車両の走行ルート（A）の1地点（図6-6参照）	供用時	解体工事中				建設機械等の稼働				温室効果ガスの排出量	「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.0」（令和7年3月、環境省・経済産業省）に基づき算定	（地域・地点）対象事業実施区域	工事期間	資材等の運搬車両の走行				温室効果ガスの排出量	「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.0」（令和7年3月、環境省・経済産業省）に基づき算定	（地域）運搬車両の走行道路 （地点）運搬車両の走行ルート（A） （B）の2地点（図6-6参照）	工事期間	<table><tr><th colspan="4">表6-40 温室効果ガスの予測の手法</th></tr><tr><th>予測項目</th><th>予測の基本的な手法</th><th>予測地域・地点</th><th>予測対象時期等</th></tr><tr><th colspan="4">建設工事中</th></tr><tr><th colspan="4">建設機械等の稼働</th></tr><tr><td>温室効果ガスの排出量</td><td>「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.1」（令和8年3月、環境省・経済産業省）に基づき算定</td><td>（地域・地点）対象事業実施区域</td><td>工事期間</td></tr><tr><th colspan="4">資材等の運搬車両の走行</th></tr><tr><td>温室効果ガスの排出量</td><td>「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.1」（令和8年3月、環境省・経済産業省）に基づき算定</td><td>（地域）運搬車両の走行道路 （地点）運搬車両の走行ルート（A） （B）の2地点（図6-6参照）</td><td>工事期間</td></tr><tr><th colspan="4">供用時</th></tr><tr><th colspan="4">施設の稼働</th></tr><tr><td>温室効果ガスの排出量</td><td>「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.1」（令和8年3月、環境省・経済産業省）に基づき算定</td><td>（地域・地点）対象事業実施区域</td><td>供用時</td></tr><tr><th colspan="4">廃棄物運搬車両等の走行</th></tr><tr><td>温室効果ガスの排出量</td><td>「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.1」（令和8年3月、環境省・経済産業省）に基づき算定</td><td>（地域）運搬車両の走行道路 （地点）運搬車両の走行ルート（A）の1地点（図6-6参照）</td><td>供用時</td></tr><tr><th colspan="4">解体工事中</th></tr><tr><th colspan="4">建設機械等の稼働</th></tr><tr><td>温室効果ガスの排出量</td><td>「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.1」（令和8年3月、環境省・経済産業省）に基づき算定</td><td>（地域・地点）対象事業実施区域</td><td>工事期間</td></tr><tr><th colspan="4">資材等の運搬車両の走行</th></tr><tr><td>温室効果ガスの排出量</td><td>「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.1」（令和8年3月、環境省・経済産業省）に基づき算定</td><td>（地域）運搬車両の走行道路 （地点）運搬車両の走行ルート（A） （B）の2地点（図6-6参照）</td><td>工事期間</td></tr></table>	表6-40 温室効果ガスの予測の手法				予測項目	予測の基本的な手法	予測地域・地点	予測対象時期等	建設工事中				建設機械等の稼働				温室効果ガスの排出量	「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.1」（令和8年3月、環境省・経済産業省）に基づき算定	（地域・地点）対象事業実施区域	工事期間	資材等の運搬車両の走行				温室効果ガスの排出量	「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.1」（令和8年3月、環境省・経済産業省）に基づき算定	（地域）運搬車両の走行道路 （地点）運搬車両の走行ルート（A） （B）の2地点（図6-6参照）	工事期間	供用時				施設の稼働				温室効果ガスの排出量	「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.1」（令和8年3月、環境省・経済産業省）に基づき算定	（地域・地点）対象事業実施区域	供用時	廃棄物運搬車両等の走行				温室効果ガスの排出量	「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.1」（令和8年3月、環境省・経済産業省）に基づき算定	（地域）運搬車両の走行道路 （地点）運搬車両の走行ルート（A）の1地点（図6-6参照）	供用時	解体工事中				建設機械等の稼働				温室効果ガスの排出量	「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.1」（令和8年3月、環境省・経済産業省）に基づき算定	（地域・地点）対象事業実施区域	工事期間	資材等の運搬車両の走行				温室効果ガスの排出量	「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.1」（令和8年3月、環境省・経済産業省）に基づき算定	（地域）運搬車両の走行道路 （地点）運搬車両の走行ルート（A） （B）の2地点（図6-6参照）	工事期間
表6-40 温室効果ガスの予測の手法																																																																																																																																										
予測項目	予測の基本的な手法	予測地域・地点	予測対象時期等																																																																																																																																							
建設工事中																																																																																																																																										
建設機械等の稼働																																																																																																																																										
温室効果ガスの排出量	「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.0」（令和7年3月、環境省・経済産業省）に基づき算定	（地域・地点）対象事業実施区域	工事期間																																																																																																																																							
資材等の運搬車両の走行																																																																																																																																										
温室効果ガスの排出量	「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.0」（令和7年3月、環境省・経済産業省）に基づき算定	（地域）運搬車両の走行道路 （地点）運搬車両の走行ルート（A） （B）の2地点（図6-6参照）	工事期間																																																																																																																																							
供用時																																																																																																																																										
施設の稼働																																																																																																																																										
温室効果ガスの排出量	「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.0」（令和7年3月、環境省・経済産業省）に基づき算定	（地域・地点）対象事業実施区域	供用時																																																																																																																																							
廃棄物運搬車両等の走行																																																																																																																																										
温室効果ガスの排出量	「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.0」（令和7年3月、環境省・経済産業省）に基づき算定	（地域）運搬車両の走行道路 （地点）運搬車両の走行ルート（A）の1地点（図6-6参照）	供用時																																																																																																																																							
解体工事中																																																																																																																																										
建設機械等の稼働																																																																																																																																										
温室効果ガスの排出量	「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.0」（令和7年3月、環境省・経済産業省）に基づき算定	（地域・地点）対象事業実施区域	工事期間																																																																																																																																							
資材等の運搬車両の走行																																																																																																																																										
温室効果ガスの排出量	「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.0」（令和7年3月、環境省・経済産業省）に基づき算定	（地域）運搬車両の走行道路 （地点）運搬車両の走行ルート（A） （B）の2地点（図6-6参照）	工事期間																																																																																																																																							
表6-40 温室効果ガスの予測の手法																																																																																																																																										
予測項目	予測の基本的な手法	予測地域・地点	予測対象時期等																																																																																																																																							
建設工事中																																																																																																																																										
建設機械等の稼働																																																																																																																																										
温室効果ガスの排出量	「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.1」（令和8年3月、環境省・経済産業省）に基づき算定	（地域・地点）対象事業実施区域	工事期間																																																																																																																																							
資材等の運搬車両の走行																																																																																																																																										
温室効果ガスの排出量	「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.1」（令和8年3月、環境省・経済産業省）に基づき算定	（地域）運搬車両の走行道路 （地点）運搬車両の走行ルート（A） （B）の2地点（図6-6参照）	工事期間																																																																																																																																							
供用時																																																																																																																																										
施設の稼働																																																																																																																																										
温室効果ガスの排出量	「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.1」（令和8年3月、環境省・経済産業省）に基づき算定	（地域・地点）対象事業実施区域	供用時																																																																																																																																							
廃棄物運搬車両等の走行																																																																																																																																										
温室効果ガスの排出量	「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.1」（令和8年3月、環境省・経済産業省）に基づき算定	（地域）運搬車両の走行道路 （地点）運搬車両の走行ルート（A）の1地点（図6-6参照）	供用時																																																																																																																																							
解体工事中																																																																																																																																										
建設機械等の稼働																																																																																																																																										
温室効果ガスの排出量	「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.1」（令和8年3月、環境省・経済産業省）に基づき算定	（地域・地点）対象事業実施区域	工事期間																																																																																																																																							
資材等の運搬車両の走行																																																																																																																																										
温室効果ガスの排出量	「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.1」（令和8年3月、環境省・経済産業省）に基づき算定	（地域）運搬車両の走行道路 （地点）運搬車両の走行ルート（A） （B）の2地点（図6-6参照）	工事期間																																																																																																																																							



- ①対象事業実施区域（大気質 1、水質、騒音、振動、悪臭 1、土壌 1 等）
- ②近隣住宅地①、大下津公園（自動車騒音・振動・大気質、景観、人と自然との触れ合いの活動の場）
- ③洛西浄化センター公園（人と自然との触れ合いの活動の場）
- ④近隣住宅地②（景観）
- ⑤勝竜寺城公園（大気質 2、悪臭 2、土壌 2）
- ⑥長黒埋立地跡（大気質 6）
- ⑦淀川河川公園大山崎地区（人と自然との触れ合いの活動の場）
- ⑧天王山夢ほたる公園（景観）
- ⑨葛原ポンプ場跡（大気質 5、悪臭 5、土壌 5）
- ⑩大山崎瓦窯跡公園（景観）
- ⑪さくらであい館（景観）
- ⑫淀南連合自治会（大気質 4、悪臭 4、土壌 4）
- ⑬淀城跡公園（大気質 3、悪臭 3、土壌 3）

※⑭青木葉谷展望広場、⑮旗立松展望台、⑯奥の山展望広場
 ⑰京奈和自転車道、⑱男山展望台、⑲JR京都線車窓、⑳京阪本線車窓
 は省略